

御坂中学校校舎解体工事(2期)

建築意匠			
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
—	表紙・図面リスト	D II 17	既存校舎 3F平面詳細図-2（参考）
D II 01	特記仕様書-1	D II 18	既存校舎 4F平面詳細図-1（参考）
D II 02	特記仕様書-2	D II 19	既存校舎 4F平面詳細図-2（参考）
D II 03	案内図・配置図	D II 20	既存校舎 基礎・各階伏図（参考）
D II 04	既存校舎 外構解体範囲	D II 21	既存校舎 軸組図1（参考）
D II 05	既存校舎 1F・2F平面図	D II 22	既存校舎 軸組図2（参考）
D II 06	既存校舎 3F・4F平面図	D II 23	既存校舎 軸組図3（参考）
D II 07	既存校舎 RF平面図・浄化槽詳細図	D II 24	既存校舎 鉄骨ブレース詳細図1（参考）
D II 08	既存校舎 仕上表（参考）	D II 25	既存校舎 鉄骨ブレース詳細図2（参考）
D II 09	既存校舎 立面図（参考）	D II 26	既存校舎 RC補強壁詳細図（参考）
D II 10	既存校舎 矩計図1（参考）	D II 27	既存校舎 EXP詳細図（参考）
D II 11	既存校舎 矩計図2（参考）	D II 28	既存校舎 雑詳細図（参考）
D II 12	既存校舎 1F平面詳細図-1（参考）	D II 29	既存校舎 柔剣道所用接続渡り廊下
D II 13	既存校舎 1F平面詳細図-2（参考）	D II 30	既存校舎 1・2F電気設備器具撤去図
D II 14	既存校舎 2F平面詳細図-1（参考）	D II 31	既存校舎 3・4F電気設備器具撤去図
D II 15	既存校舎 2F平面詳細図-2（参考）	D II 32	既存校舎 RF電気設備器具撤去図
D II 16	既存校舎 3F平面詳細図-1（参考）	D II 33	既存校舎 外構 電気設備器具撤去図

表紙共 34枚

特 記 仕 様 書			
1. 工 事 概 要			
1 工事名称	御坂中学校校舎解体工事(2期)		
2 工事場所	山梨県笛吹市御坂町下野原1257番地 御坂中学校		
3 用途地域等	都市計画区域(〔内〕・外) 用途地域() 防火地域等(・防火 ・準防火 指定なし ・22条) その他の地域・地区()		
4 主要用途	中学校		
5 敷地面積	20,833.41㎡(除却面積19.41㎡) 合計20852.83㎡		
6 工事の概要	建 物 校 舎	構 造 RC造	規 模 地上4階 延床面積 解体する校舎の面積3,944.39㎡のうち 2,180.00㎡を解体
	受水槽ポンプ室	S造	12.18㎡
	駐輪場	地上1階	102.17㎡
	渡り廊下	S造	
7 別 途 工 事	計4棟 他附属建物、工作物の解体		
8 そ の 他			
9 特記仕様書の範囲			
特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印もので構成する。			
・外構工事特記仕様書	・植栽工事特記仕様書		
・電気設備工事特記仕様書	・機械設備工事特記仕様書		
・	・		

Ⅱ. 建築工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房営繕部監修の「建築物解体工事共通仕様書(平成31年版)・同解説(令和2年度版)」(以下、「**解体共通仕様書**」という。)による。ただし、「**解体共通仕様書**」に記載されていない事項は、「**公共建築工事標準仕様書(平成31年版)**」(以下「**標準仕様書**」という。)及び「**公共建築改修工事標準仕様書(平成31年版)**」(以下「**改修標準仕様書**」という。)による。

なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。

2. 特記仕様

- 1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
- 2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。
○印と※印のついた場合は、共に適用する。
- 3) 特記事項に記載の[]、()、及び< >内の表示番号は、それぞれ「**解体共通仕様書**」及び「**標準仕様書**」及び「**改修標準仕様書**」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章

項目

特記事項

1章
各章共通事項

①一般事項

○工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。

○請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。

○工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況(地盤・擁壁、内外壁、床、建具等)を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。
調査範囲 ※図示

②適用基準等

・建築物解体工事共通仕様書(平成31年版)・同解説(令和2年度版)

・公共建築工事標準仕様書(平成31年度版)

・公共建築改修工事標準仕様書(平成31年度版)

③工事実績情報
(CORINS)の登録

※適用する <1.1.4.>
受注時、変更時及び完了時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、登録されたことを証明する資料を、監督職員に提出すること。

・適用しない

4. 電気保安技術者

※適用する ・適用しない <1.3.3.>

⑤事故報告

工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。

6. 完成図等

※完成図(施工図、施工計画書を除く)
※完成図CADデータ(MO又はCD-R)
※施工図、及び施工計画書
※ 保全に関する資料(提出部数 ・ 1部 ・ 2部)

7. 完成写真

※作成する
次のものを監督職員に提出する。

分類	規格	撮影箇所数	部数	原板の大きさ
※カラー ・ 白黒	※A4B3 裱版 ・ 全紙A3 裱	・ 箇所 枚	※部 ・ 部	※100×125以上

・ 作成しない

⑧火災保険等

工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。
保険の種類 ※火災保険 ※建設工事保険 ・
保険期間 ※工期に14日以上の日を加えた日まで ・

<p>2章 仮設工事</p> <p>① 仮囲い</p>	<p>※ 設ける (位置、延長等は図示)</p> <p>⊗ 万能鋼板 (H=3.0) ・ 波形鉄板 (H=)</p> <p>・ 単管シート (H=) ※ 防音シート (H=建物高さ+2m)</p> <p>※ 防音パネル (H=)</p> <p>・ パネルゲート (W=) H=) × 箇所</p> <p>・ シートゲート (W=) H=) × 箇所</p> <p>・ 設けない</p>
<p>② 騒音、防塵等の対策</p>	<p>※設ける (適用範囲、高さ等は図示)</p> <p>・ 防音パネル ○防音シート (防災処理)</p> <p>・ 設けない</p>
<p>③ 交通誘導員</p>	<p>○配置する (75日 × 2人 = 150人日)</p> <p>・ 配置しない</p>
<p>4. 監督職員事務所</p>	<p>※ 設ける</p> <p>・ 既存建物内の一部を使用する。</p> <p>・ 構内に新設する (規模 m²程度)</p> <p>・ 備え付ける備品 (机、椅子、書棚、黒板、掛時計、懐中電灯)</p> <p>・ 設けない</p>
<p>⑤ 工事表示板</p>	<p>※工事表示板 枚</p> <p>※ 建設リサイクル法による標識を設置する。</p>
<p>⑥ 工事用水</p>	<p>構内既存の施設 ○利用できる (○有償 ・ 無償)</p> <p>※ 利用できない</p>
<p>⑦ 工事用電力</p>	<p>構内既存の施設 ・ 利用できる (・ 有償 ・ 無償)</p> <p>※ 利用できない</p>
<p>⑧ 工事用通路</p>	<p>※指定しない ○指定する (図示)</p>
<p>⑨ 足場その他</p>	<p>内部足場 ○脚立、足場板等 ・ <2.2.1></p> <p>外部足場 ※A種 ※B種 ・ C種 ・ D種</p> <p>防護シート ※設ける (○防音シート ・ その他)</p> <p>・ 設けない</p> <p>材料の運搬 ※B種 ・ C種</p> <p>※D種 ・ E種</p> <p>枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月改正)」によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。</p>
<p>⑩ その他</p>	<p>※酸素・アセチレン・軽油等の危険物は所定の位置に施設できる小屋等に保管すること。</p> <p>※ 作業通路は、指定通路表示を行い、足場等の堅固なもので頭上の保護を行うこと。</p> <p>※建物周辺は、粉塵防止や火災発生に備えて散水を行うこと。</p> <p>※工事に関係部分の出入の表示を行うこと。</p>

<div>3章</div> <div>解体施工</div>	<div>①解体工法</div> <div>※解体工法は、低振動・低騒音型の機械器具等の選定を心がけ、防音シートや散水等により騒音・振動の減少、粉塵の防止に努めること。</div> <div>※解体方法及び手順は、「分別解体等に係る施工方法に関する基準(建設リサイクル法規則第2条)」による。</div>
<div>②施工計画書等</div>	<div>[3.1.3]</div> <div>工程表・施工計画書・仮設計画書等は、工事契約後速やかに監督職員に提出し、承諾を得ること。</div>
<div>3. 杭</div>	<div>杭の解体</div> <div>・ 行う</div> <div>・ 行わない</div> <div>[3.9.2]</div>
<div>④樹木等</div>	<div>杭の解体工法</div> <div>・ 引き抜き工法 (・ 振動 ・ ケーシング ・)</div> <div>・ 粉砕による解体</div>
<div>⑤地下埋設物の埋設配管</div>	<div>樹木の伐採伐根及び移植</div> <div>○行う (/ DⅡ04図による)</div> <div>地下埋設物及び埋設配管の解体</div> <div>○行う ※基礎解体に係る部分のみ</div> <div>[3.12.1]</div>
<div>6. 解体後の整地</div>	<div>解体後の埋戻し及び盛り土</div> <div>・ 行う</div> <div>埋戻し及び盛土の材料</div> <div>・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種</div> <div>C種の場合</div> <div>建設発生土受入れ量 m³</div> <div>発生場所</div> <div>受入条件</div> <div>・ 構造物撤去等により自現場で発生するコンクリート塊を使用する</div> <div>埋戻し範囲 ・ 既存建物撤去範囲 ・</div> <div>整地の高さ ※現状GL</div> <div>・ 図示 / 図による)</div> <div>[3.13.1]</div>
	<div>・ 解体後の敷地は地均し等を行う</div>

4章建設廃棄物の処理

①再資源化等

建設廃棄物の種類

中間処理施設又は再資源化施設の名称等

所在地(km)

※コンクリート

※コンクリート及び鉄から成る建設資材

※アスファルト、コンクリート

※金属類

※小型二次電池

[4. 4. 1(2)]

建設廃棄物の種類

再資源化の有無

再資源化施設の名称等

所在地(km)

○蛍光灯ランプ

○HIDランプ

○硬質塩化ビニル管・継手

・する

・しない

○しない

現場利用する再資源化された建設廃棄物

種類

利用する場所(箇所)等

コンクリート塊

埋め戻し

2. 産業廃棄物
広域認定制度

種類

所在地等(km)

3. 最終処分

・(安定型)

種類

受入施設名称等

所在地(km)

備考

・(管理型) (遮断型)

種類

受入施設名称等

所在地(Km)

備考

1～3の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。
また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること

4. 処分に注意を要する建設廃棄物

種類

処理施設名称等

所在地(Km)

備考

・CCA処理木材

・ヒ素又はカドミウム含有石膏ボード

5章特別管理産業廃棄物の処分等

1. 施工調査

[5. 1. 2]

材 料 名

仕様等(型式、厚さ、数量)

調査の範囲

石膏ボード等(72×60含有成形板)

・図示

※工事対象範囲

2. 特別管理産業廃棄物等の処理及び回収計画

[5. 1. 3][1. 2. 2(1)]

※種類別に具体的な処理、回収計画を定め施工計画書に記載する。

特別管理産業廃棄物の種類

処分場の名称

所在地等(km)

・廃石綿

3. PCBを含む機器類等

PCB(ポリ塩化ビフェニール)含有機器

※有(数量：)

・無

PCB含有シーリング材

・有()

・無

PCBを含有する機器等については、飛散、流出がないように適切な容器に納め、適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員に引き渡す。

④特殊な建設副産物の回収及び処分

[7. 1. 1～7. 3. 1]

回収又は処分を行う副産物の種類

対象機器名称

回収業者又は処分場の名称等

保管場所・処分場の所在地等

○フロコン

・ハロン

・イオン化式感知器

・六フッ化硫黄(SF6)ガス

①一般事項

石綿等の取扱については、石綿障害予防規則(平成17年4月厚生労働省令第21号、以下「石綿則」という。)、大気汚染防止法(昭和43年法律第97号、以下「大防法」という。)を遵守すること。

施工調査[6.1.1～6.1.4]<9.1.1～9.1.2>

※行う《調査結果は図面等に記録し、監督職員に提出すること。
調査の結果、設計図書と異なる場合は監督職員と協議する。》

調査箇所
調査箇所
※図示
・()
調査事項
※アスベスト含有建材等の使用部位
※アスベスト含有建材等の種類、厚さ
※施工範囲と工事範囲区分
※廃棄物などの撤出方法
・
○行わない。(設計時に分析調査済み)

アスベスト含有分析[6.1.3]

・行う(分析結果は監督職員に提出する。)
分析方法※JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有測定法」による。

材 料 名	定性分析	定量分析
	・(試料数：)	・(試料数：)
	・(試料数：)	・(試料数：)
	・(試料数：)	・(試料数：)
	・(試料数：)	・(試料数：)

※行わない

アスベスト粉じん濃度測定[6.1.4]

※行う(測定する時期・場所等は下表による)
「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法－第一部－
：光学顕微鏡法及び定査電子顕微鏡法」による位相差、分散顕微鏡法による。

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	室 名 等
・	測定1	処理作業前	処理作業室内 (注1)	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点	
・	測定2		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点	
・	測定3	処理作業中	処理作業室内 (注1)	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点	
・	測定4		セキュリティ ゾーン入口 (空気の流れを 確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点	
・	測定5		負圧・粉じん装 置の排吹出口 (除じん装置の 性能確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点	
・	測定6		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点 ※2点 ・点	
・	測定7	処理作業後 シート 撤去前	処理作業室内	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点	
・	測定8		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点 ※2点 ・点	
・	測定9	処理作業後 シート 撤去後	処理作業室内	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点	
測 定 点 総 計				点	

注1:周囲状況により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。
・行わない。

(例) アスベスト粉じん濃度測定方法

	測点3	測点1, 2, 4, 6, 7, 8	測点5
数計機器	位相差・分散顕微鏡		
メンブレンフィルタの直径	25mm		47mm
試料の吸引流量	1L/min	5L/min	10L/min
試料の吸引時間	5min	120min	240min
試料の透明化	アセトン固定ー有機物灰化ー屈折率浸液法		
計数条件	総合倍率400倍、アスベスト纖維総数、通常50視野		
計数アスベスト	幅3μm未満、長さ5μm以上、アスペクト比(長さ/幅) 3以上		
定量限界	50本/L	0.47本/L	0.3本/L

記録する項目
ア．測定結果
イ．測定時間
ウ．測定位置(測定高さとともに図面上に記載する。)
エ．サンプリング条件
(メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量)
オ．マウンティング法
カ．顕微鏡視野面積、計数視野数
キ．測定時(各測定場所ごと)の
天候、温度、湿度、外気の風速及び風量

測定機関
都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関[6.1.3(3)]

施工記録報告書の提出

1. 施工計画書

2. 工事記録及び工事写真

3. 産業廃棄物処理記録(虎石綿)

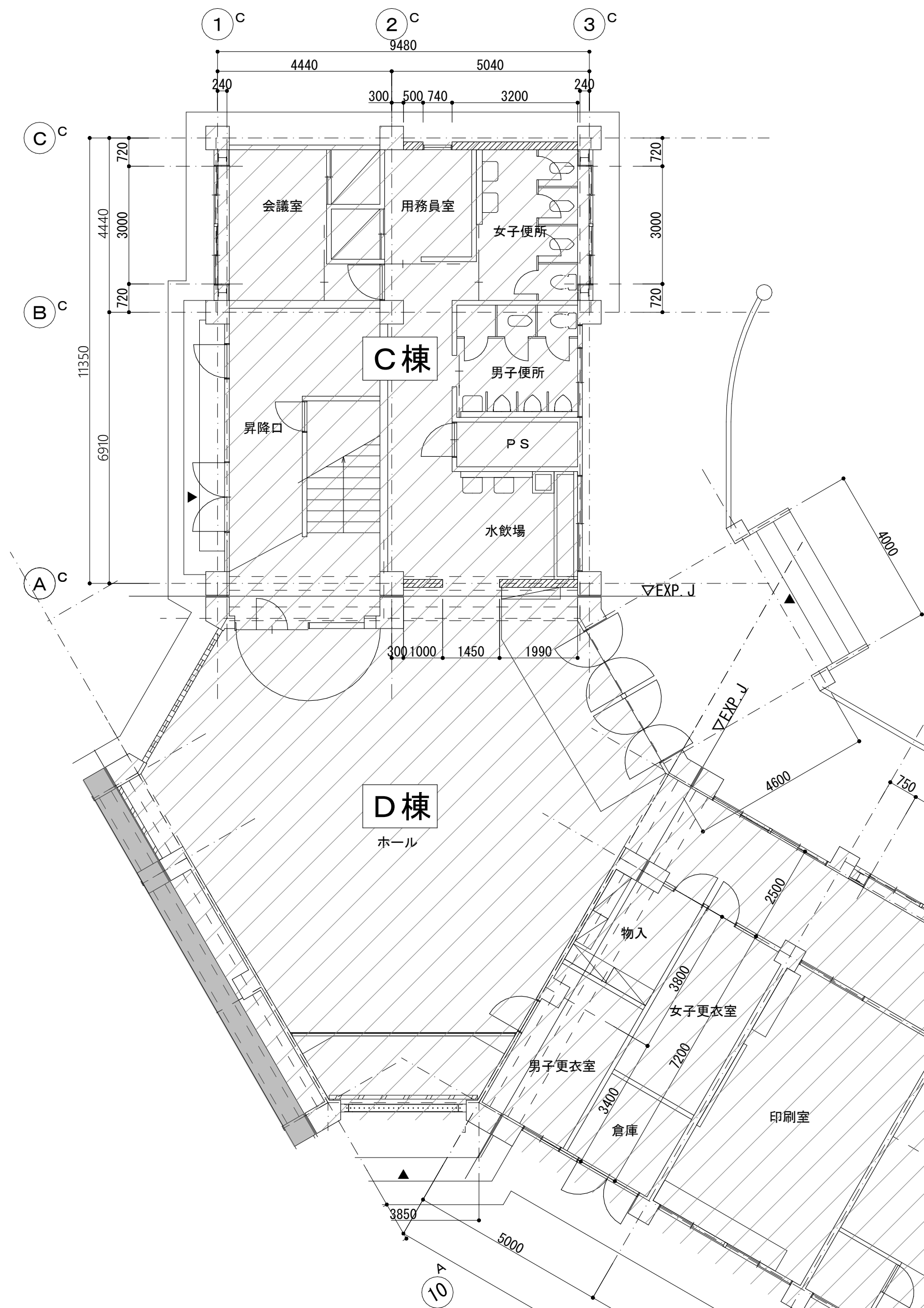
4. 施工調査等記録(条規施行調査、含有分析、粉じん濃度測定等)

5. 作業者の作業記録、各種健康診断記録、安全衛生教育記録

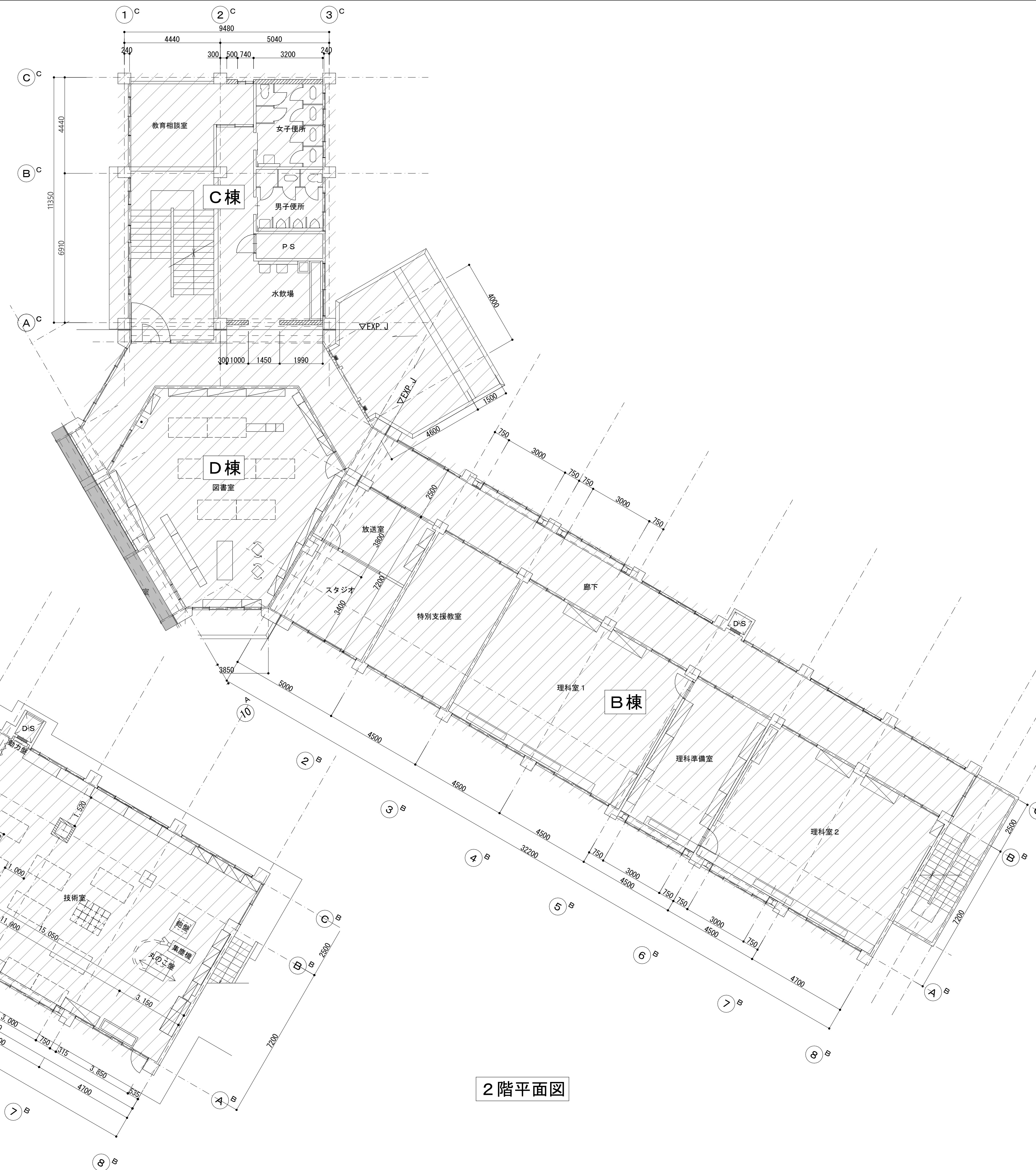
6. その他必要事項

提出部数 部作成

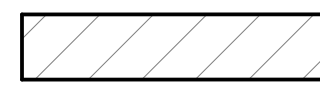

	縮 尺 A1 : A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事(2期)	区分 建築意匠
		図面名称 特記仕様書-1	No. D II 01



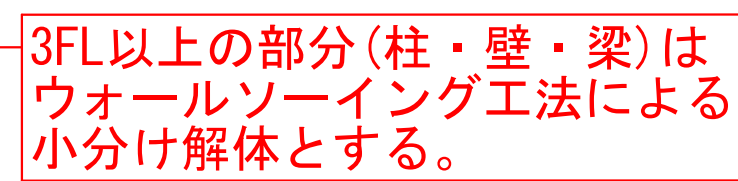
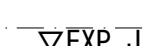
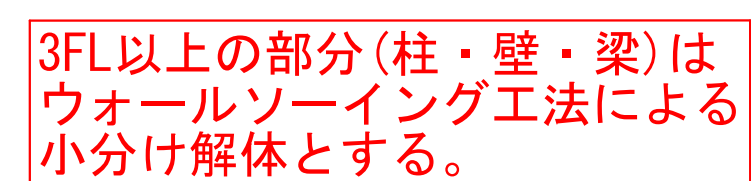
1 階平面図



2 階平面図

-  : 本工事体範囲 (RC躯体を残し撤去処分)
-  : 本工事体範囲 (ワイヤーソーイング工法によるRC躯体撤去処分)



縮 尺 A1 : 1:100 A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事(2期)	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 1F・2F平面図	No. D II 05



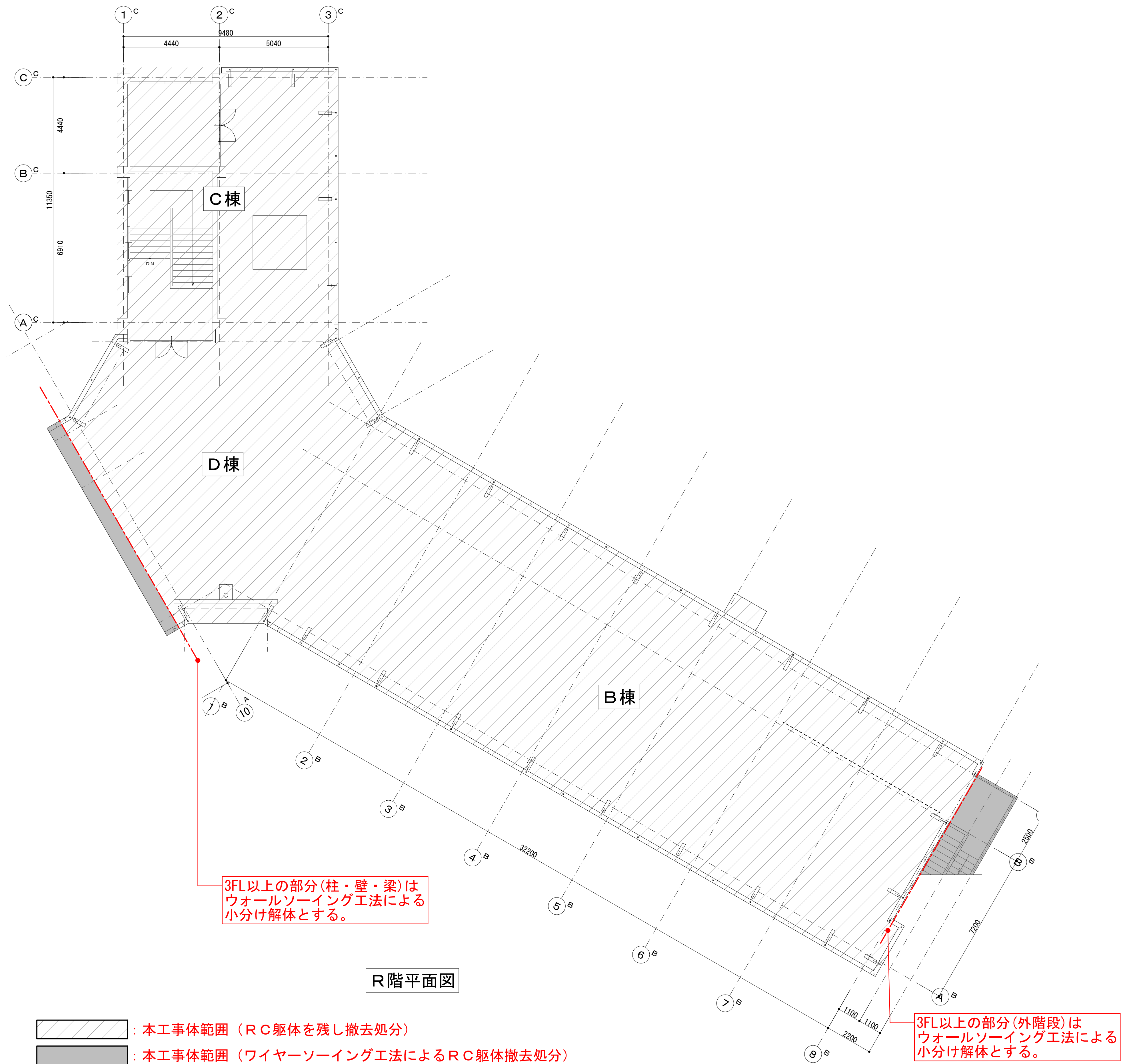
4 階平面図



3FL以上の部分(外階段)は
ウォールソーイング工法による
小分け解体とする。

3FL以上の部分(外階段)は
ウォールソーイング工法による
小分け解体とする。

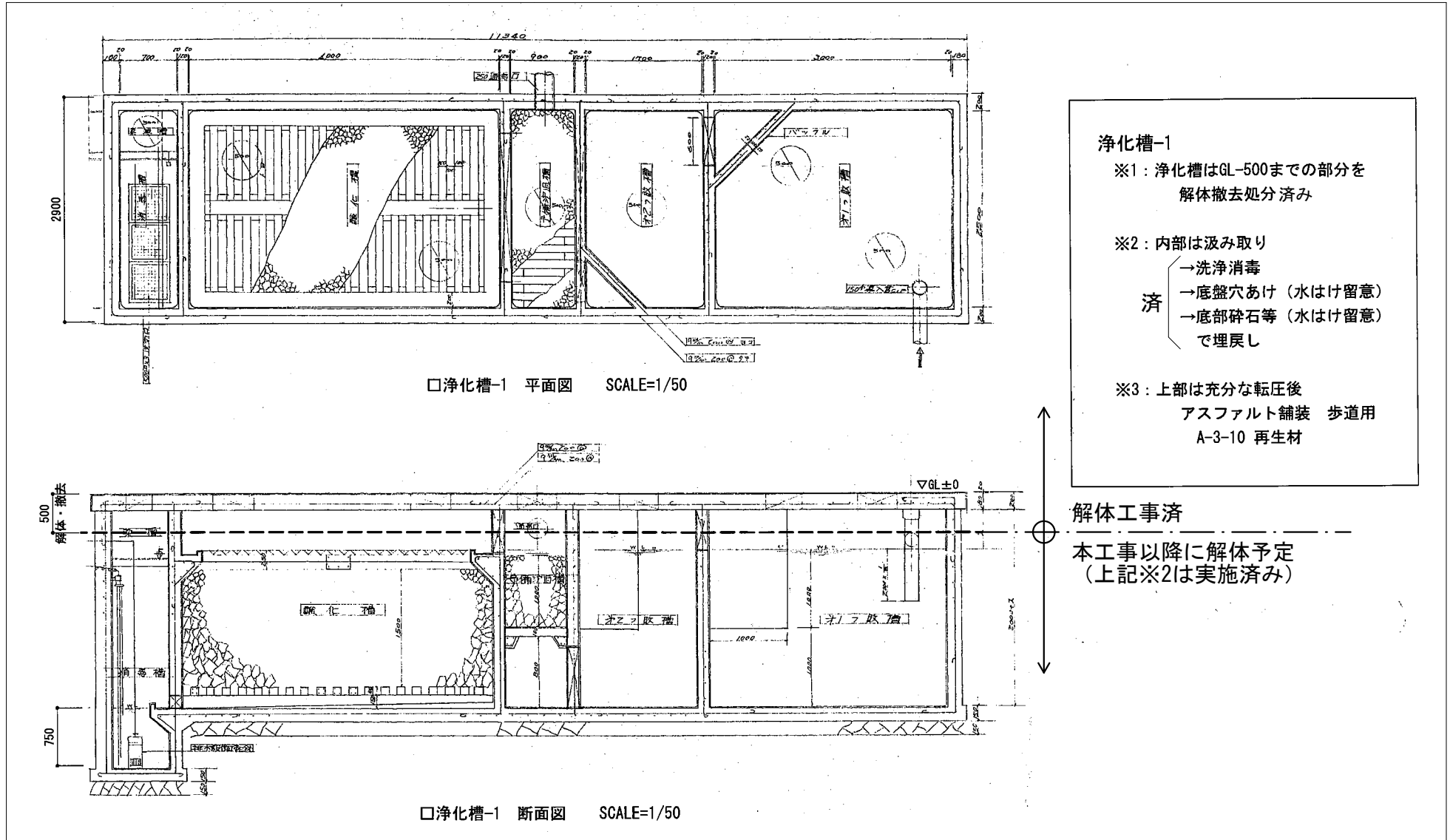
 : 本工事体範囲（ＲＣ躯体を残し撤去処分）
 : 本工事体範囲（ワイヤーソーイング工法によるＲＣ躯体撤去処分）

縮 尺 A1 : 1:100 A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事(2期)	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 3F・4F平面図	No. DⅡ06



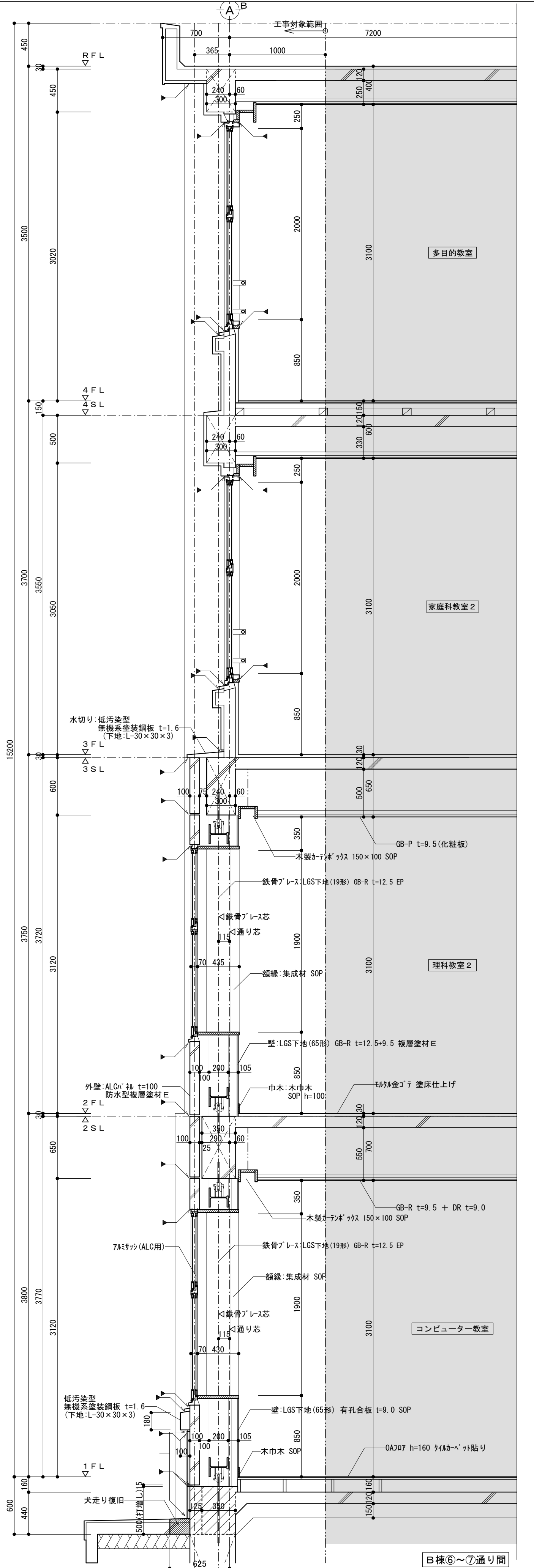
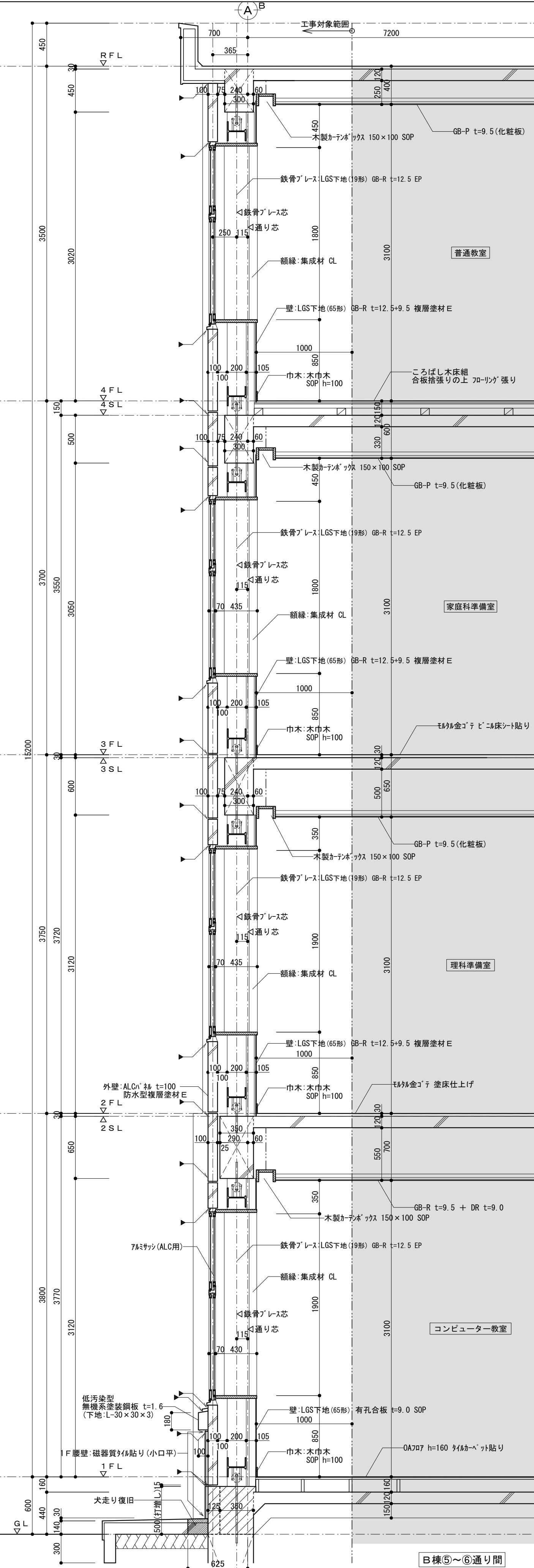
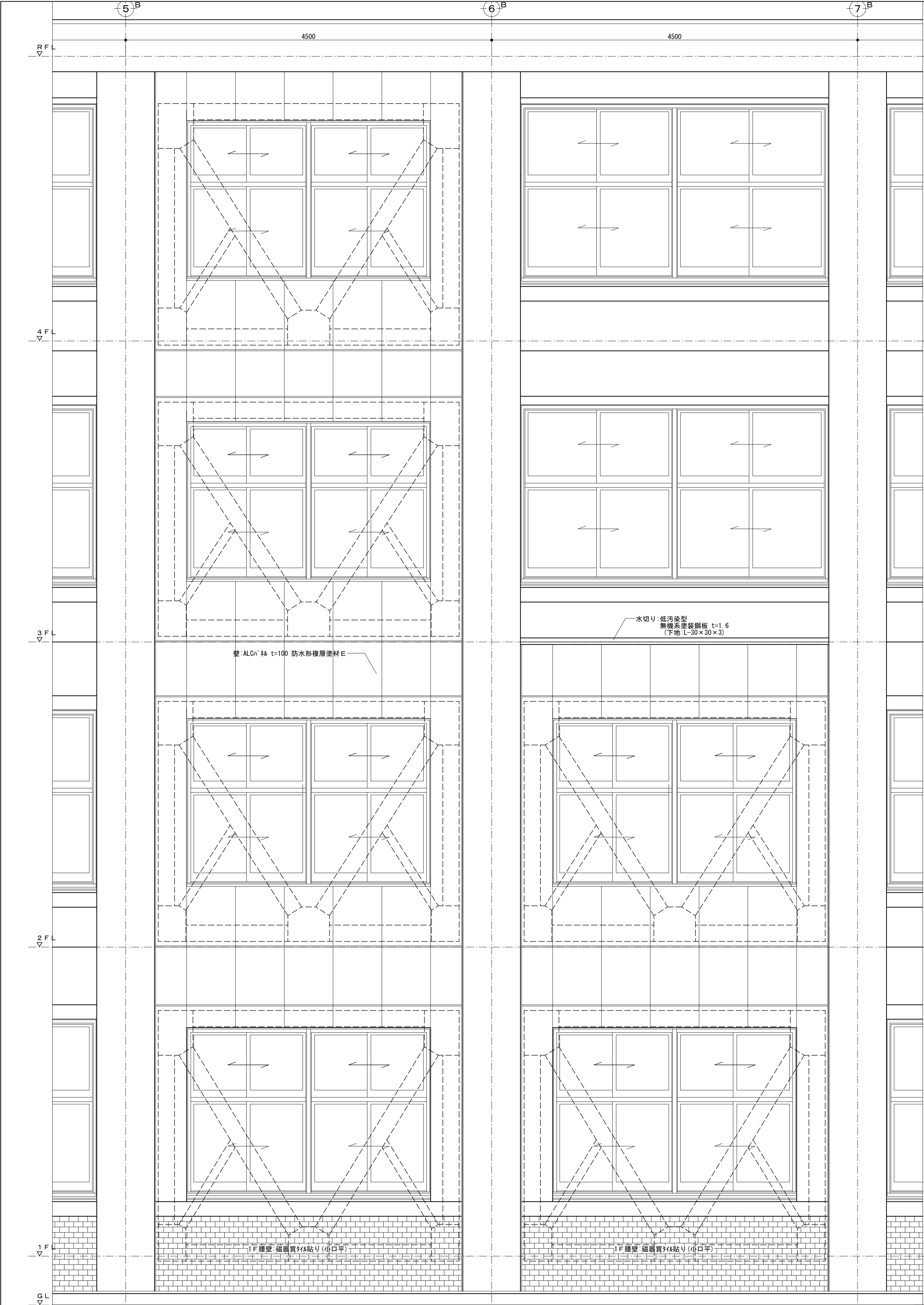
-  : 本工事体範囲 (RC躯体を残し撤去処分)
-  : 本工事体範囲 (ワイヤーソーイング工法によるRC躯体撤去処分)

3FL以上の部分(外階段)は
ウォールソーイング工法による
小分け解体とする。

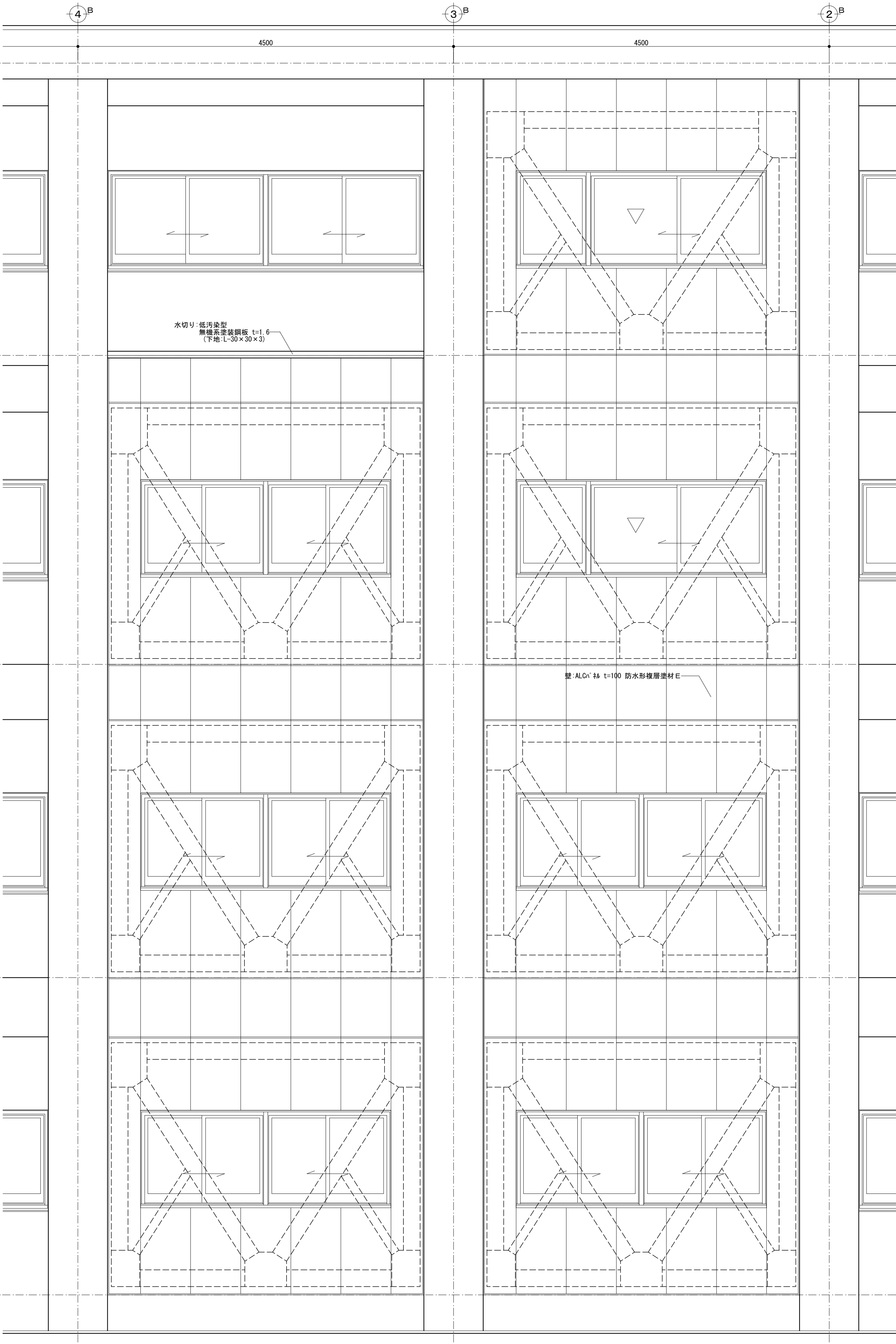
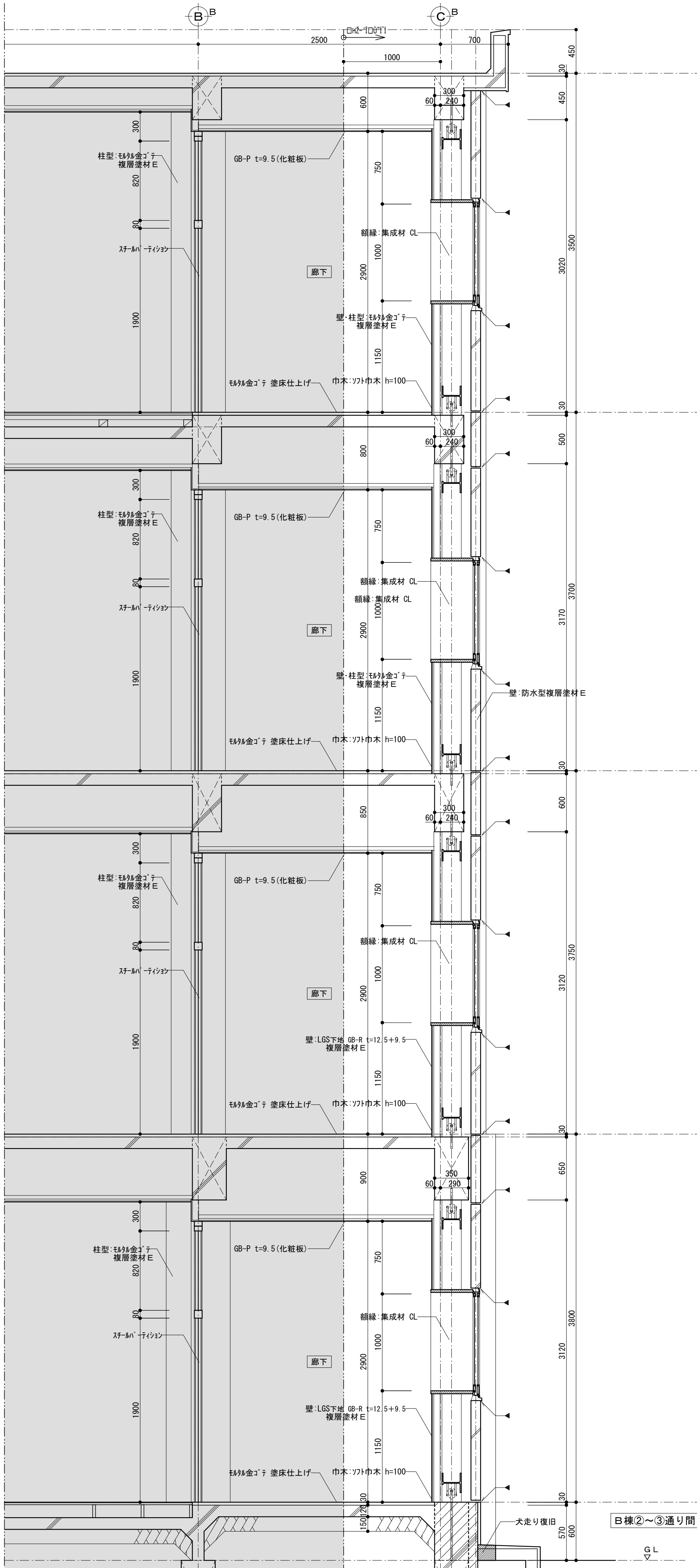


J_浄化槽詳細図

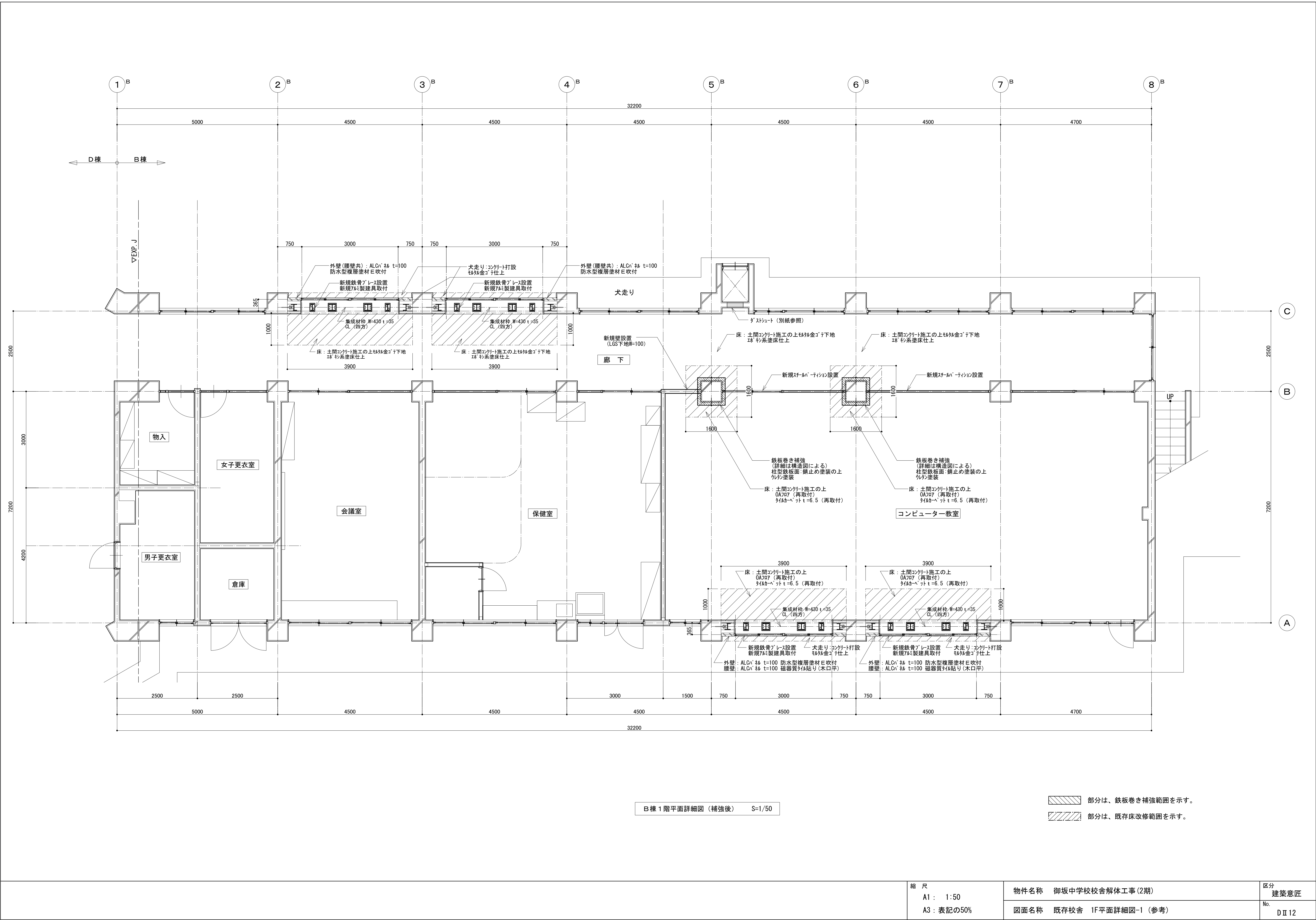
縮尺 A1:1:100, 1:1 A3:表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事(2期)	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 RF平面図・浄化槽詳細図	No. D II 07



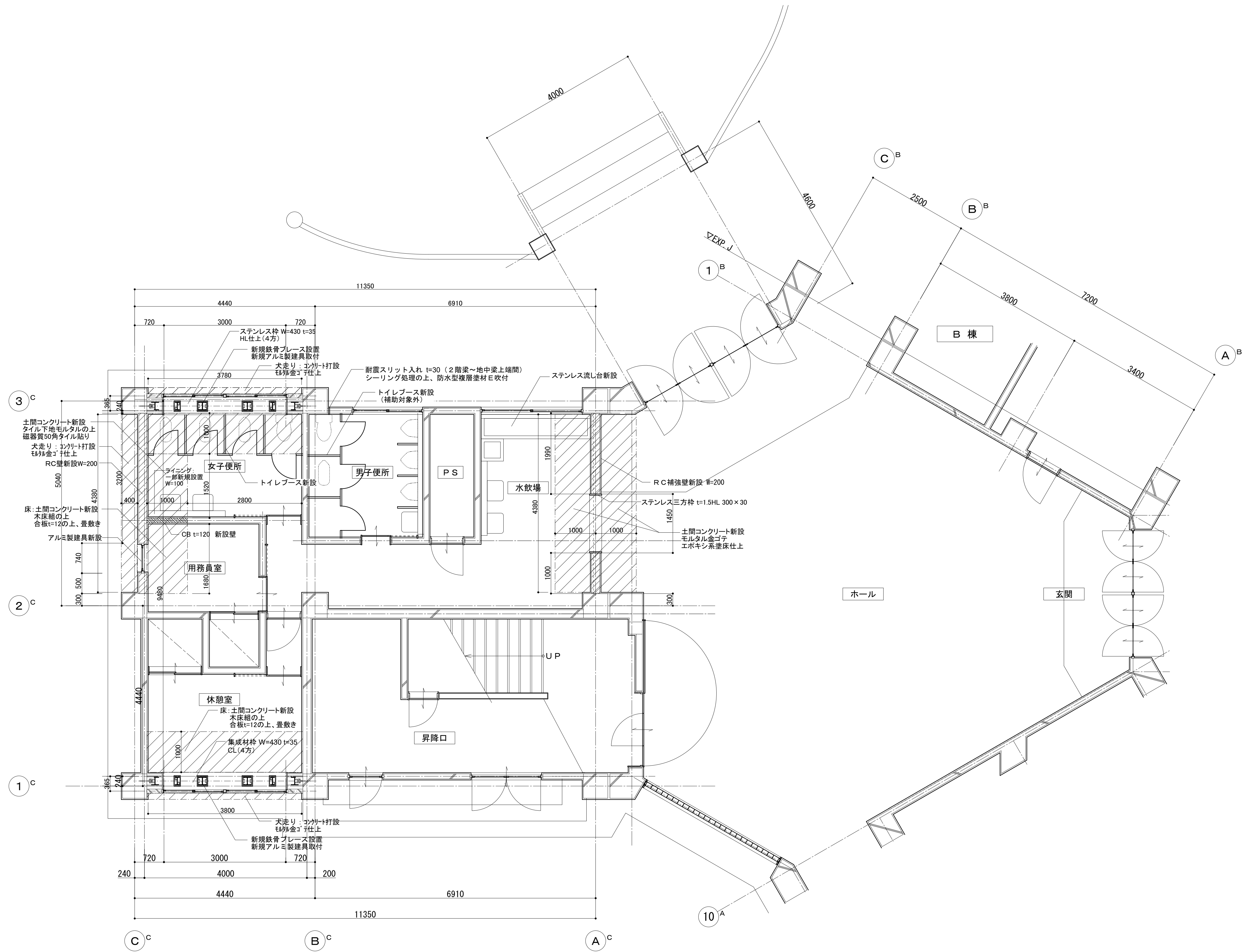
縮尺 A1 : 1:30 A3 : 表記の50%	物件名称	御坂中学校校舎解体工事(2期)	区分	建築意匠
	図面名称	既存校舎 矩計図I (参考)	No.	D II 10



縮 尺 A1 : 1:30 A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事 (2期)	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 矩計図2 (参考)	No. D II 11



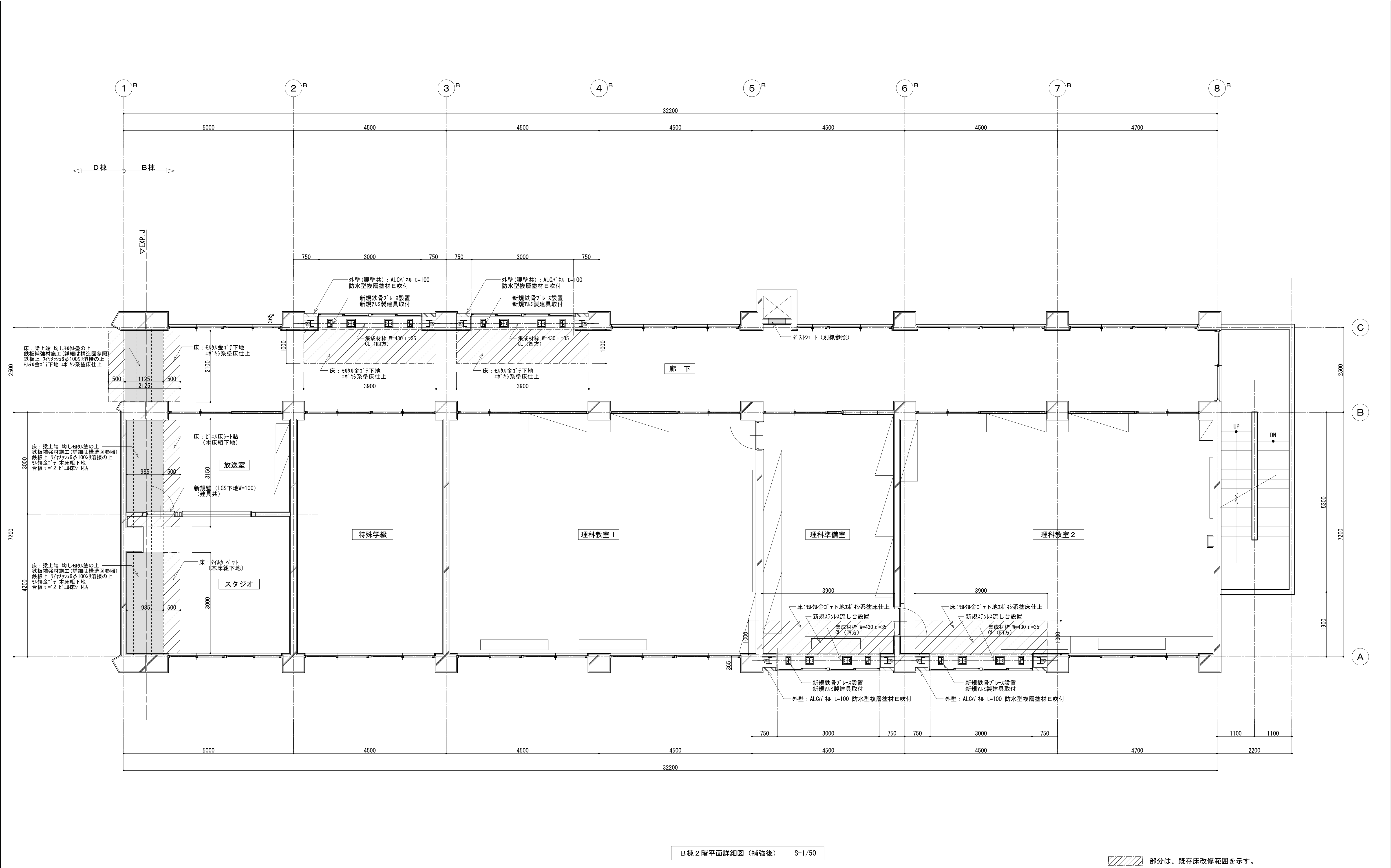
縮尺 A1 : 1:50 A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事(2期)	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 1F平面詳細図-1 (参考)	No. D II 12



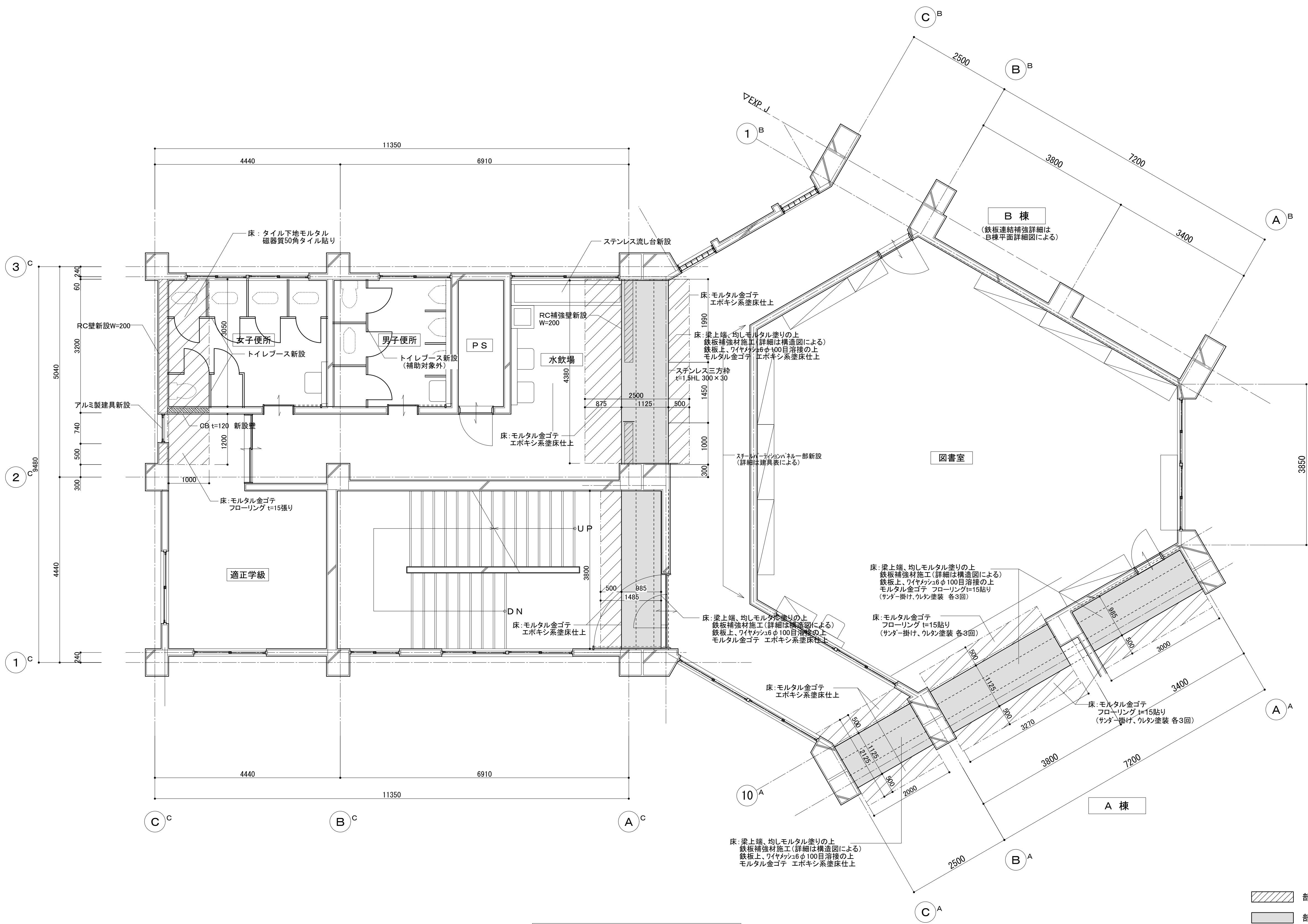
C棟・D棟1階平面詳細図(補強後) S=1/50

- 部分は、RC補強壁設置範囲を示す。
- 部分は、EXP.J部連結範囲を示す。
- 部分は、既存床改修範囲を示す。

	縮尺 A1: 1:50 A3: 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事(2期)	区分 建築意匠
		図面名称 既存校舎 1F平面詳細図-2(参考)	No. D II 13



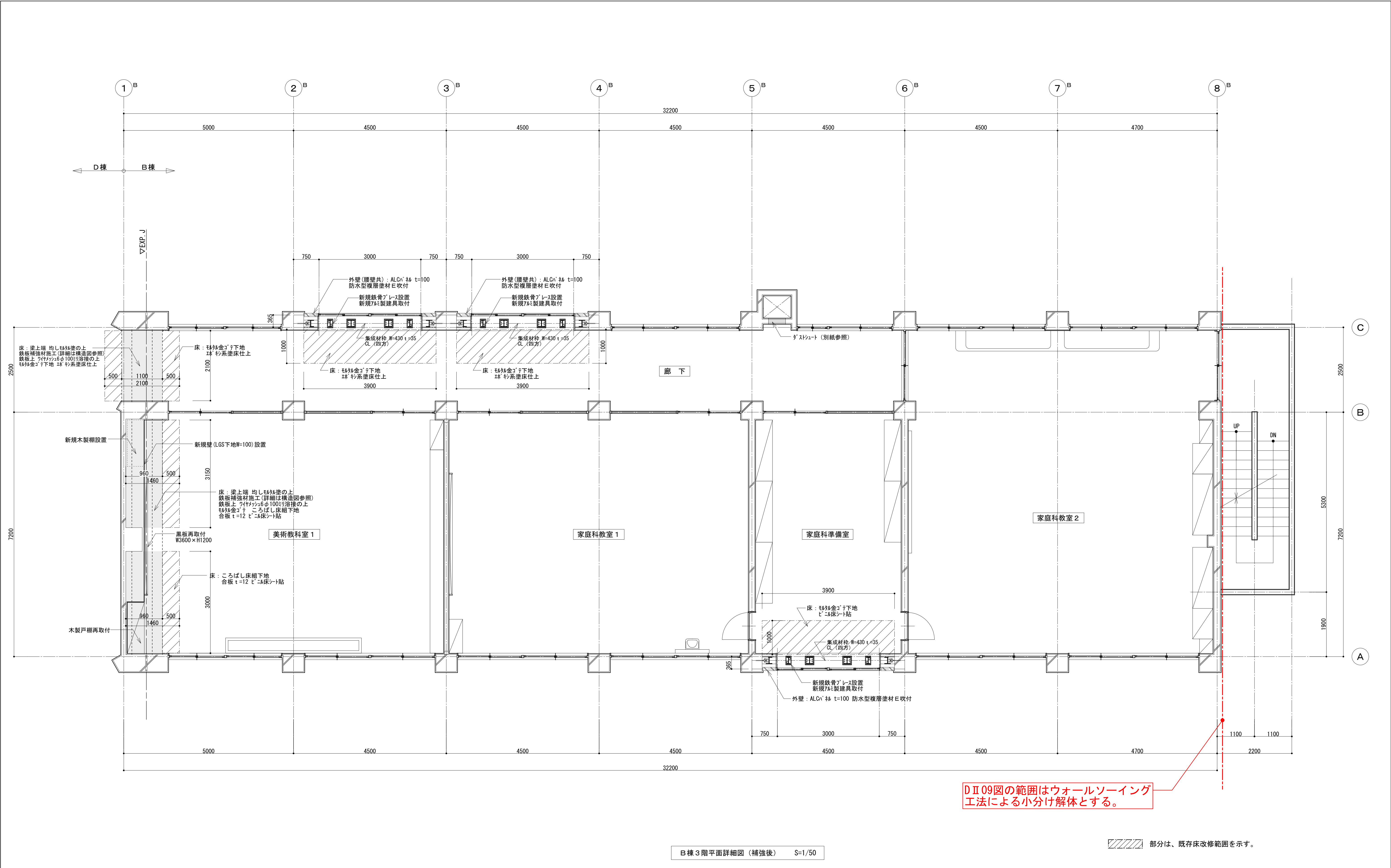
	縮 尺 A1 : 1:50 A3 : 表記の50%	物件名称	御坂中学校校舎解体工事 (2期)	区分	建築意匠
		図面名称	既存校舎 2F平面詳細図-1 (参考)	No.	D II 14



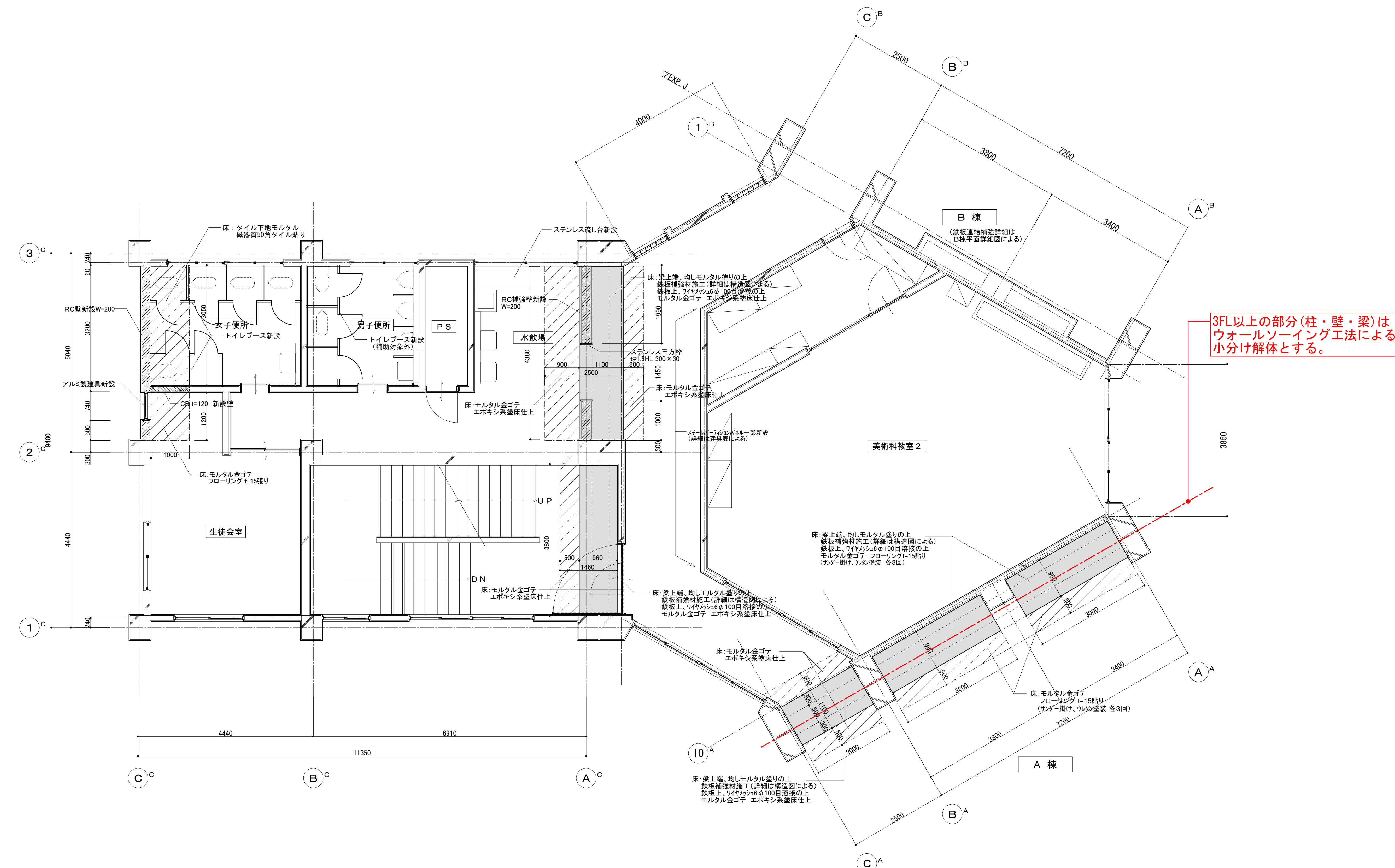
C棟・D棟2階平面詳細図（補強後） S=1/50

- 部分は、RC補強壁設置範囲を示す。
- 部分は、鉄板巻き補強範囲を示す。
- 部分は、既存床改修範囲を示す。

縮尺 A1 : 1:50 A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事(2期)	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 2F平面詳細図-2 (参考)	No. D II 15



	縮 尺 A1 : 1:50 A3 : 表記の50%	物件名称	御坂中学校校舎解体工事 (2期)	区分	建築意匠
		図面名称	既存校舎 3F平面詳細図-1 (参考)	No.	D II 16

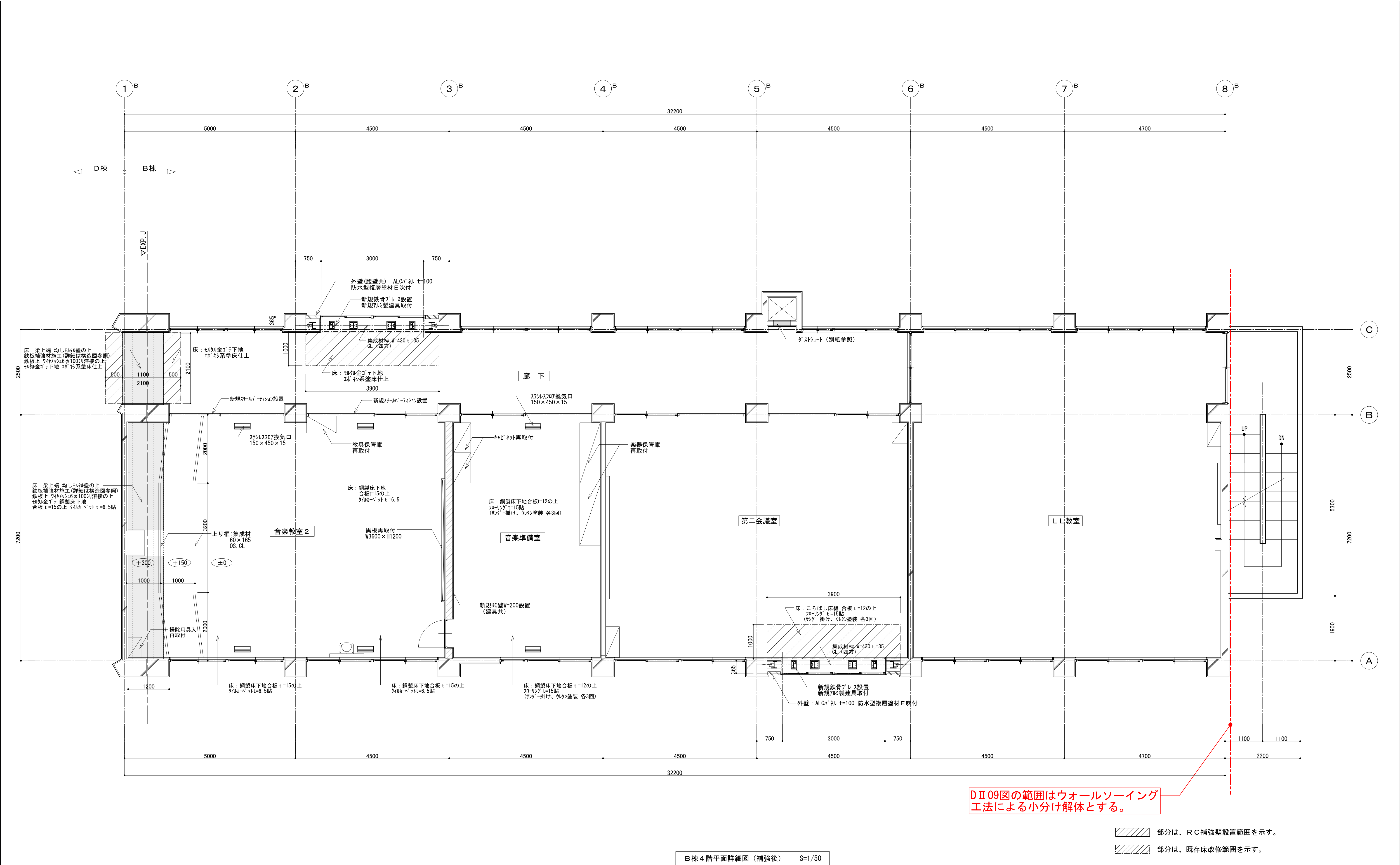


3FL以上の部分(柱・壁・梁)は
ウォールソーイング工法による
小分け解体とする。

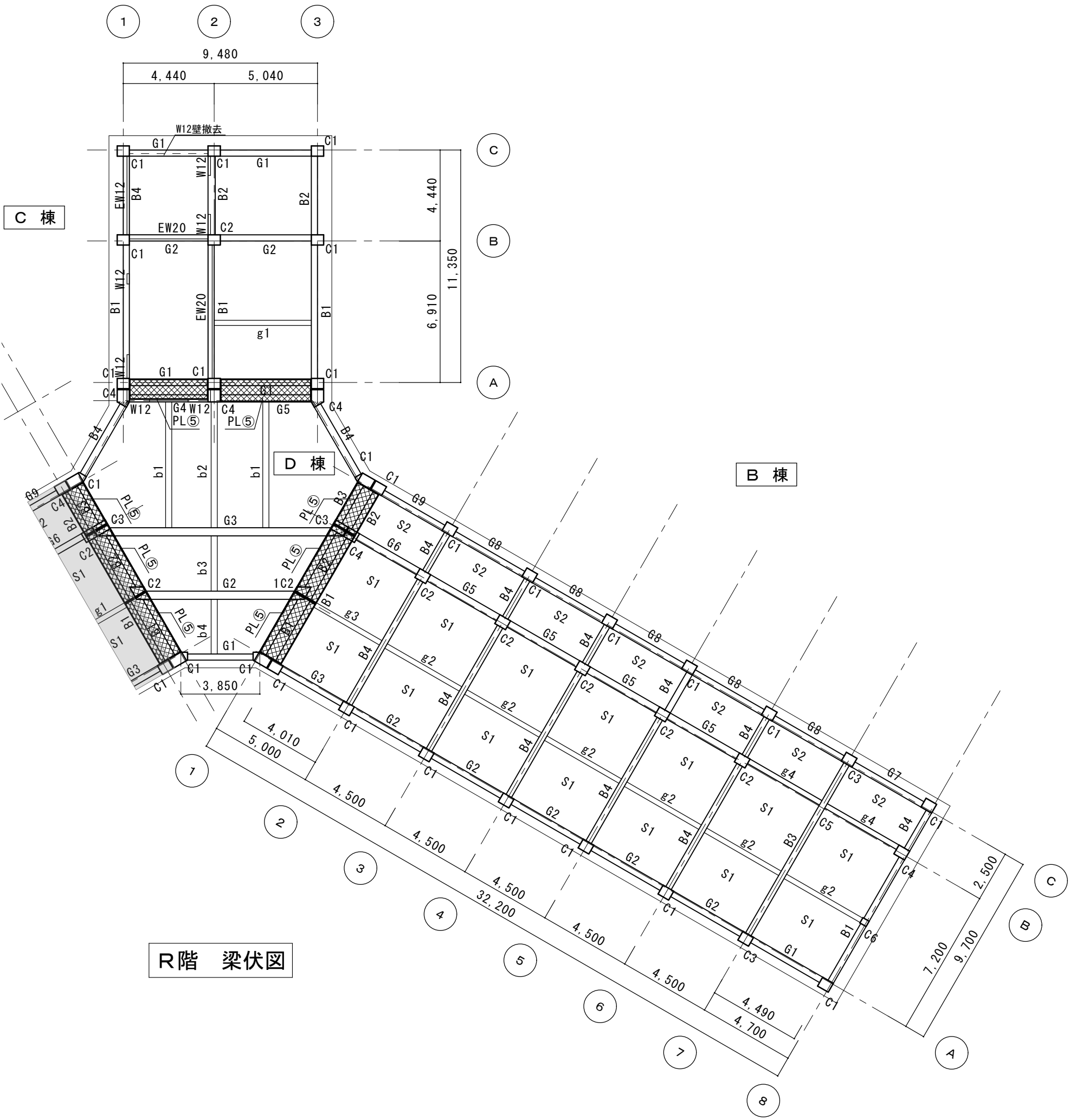
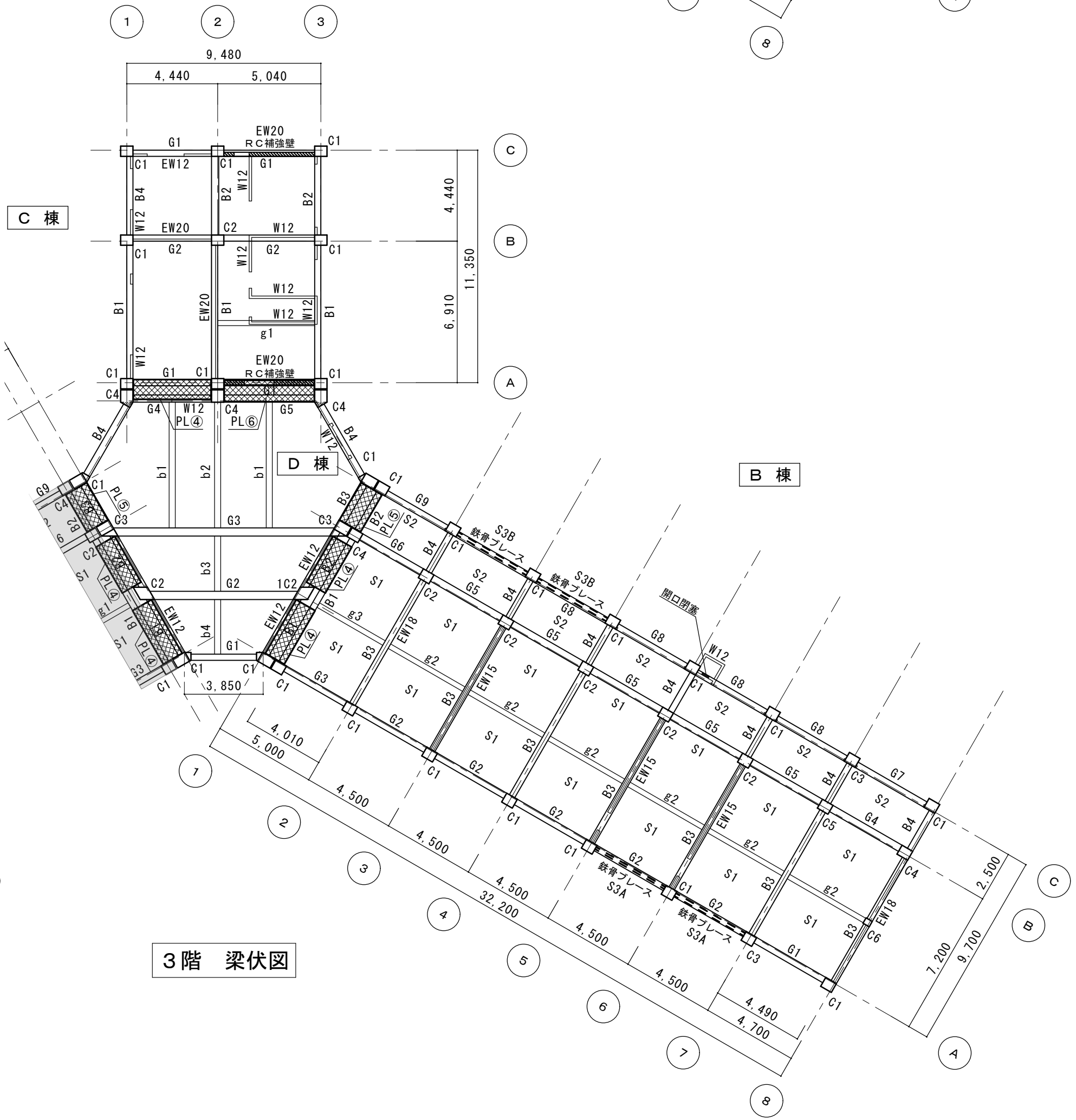
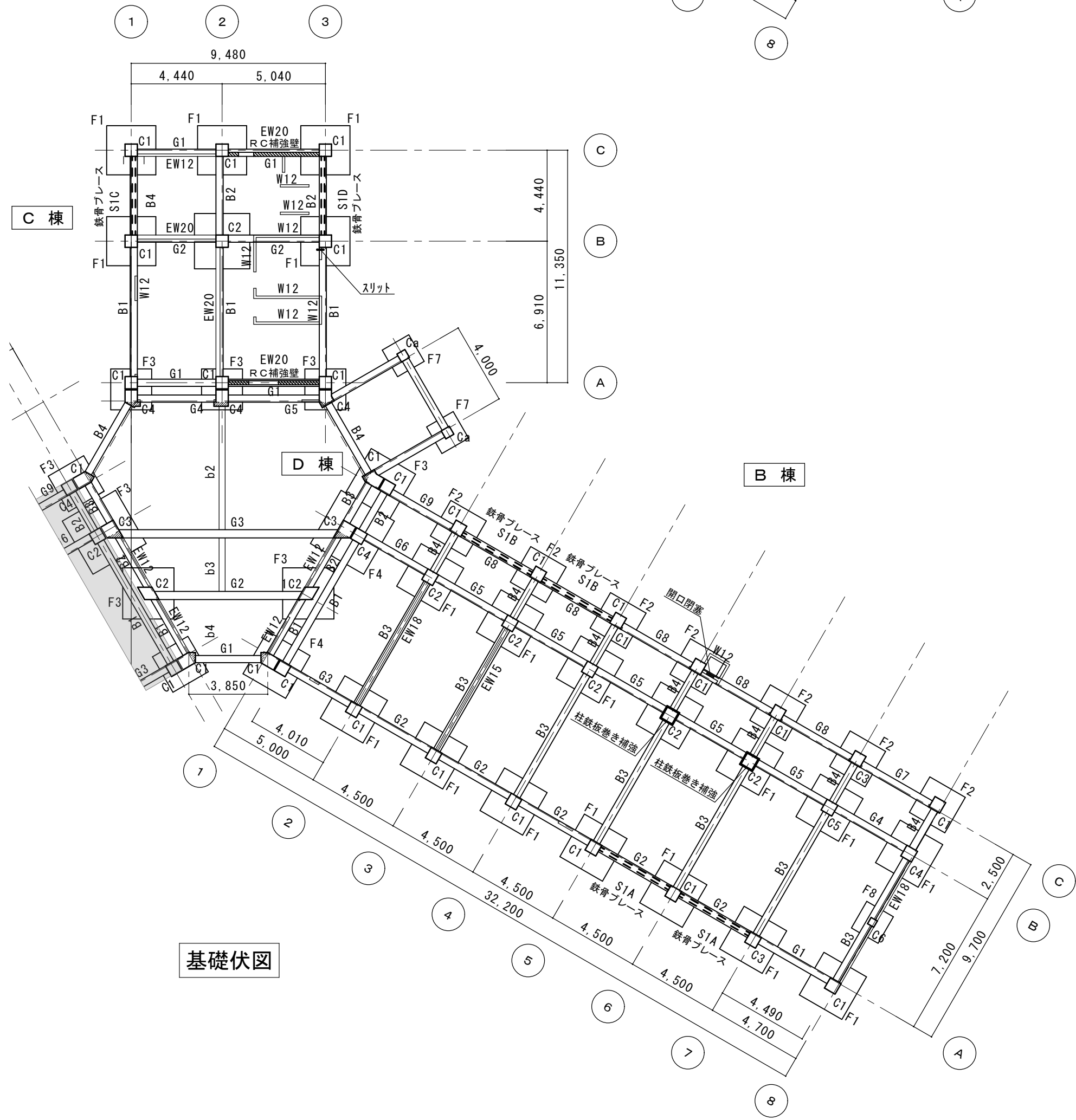
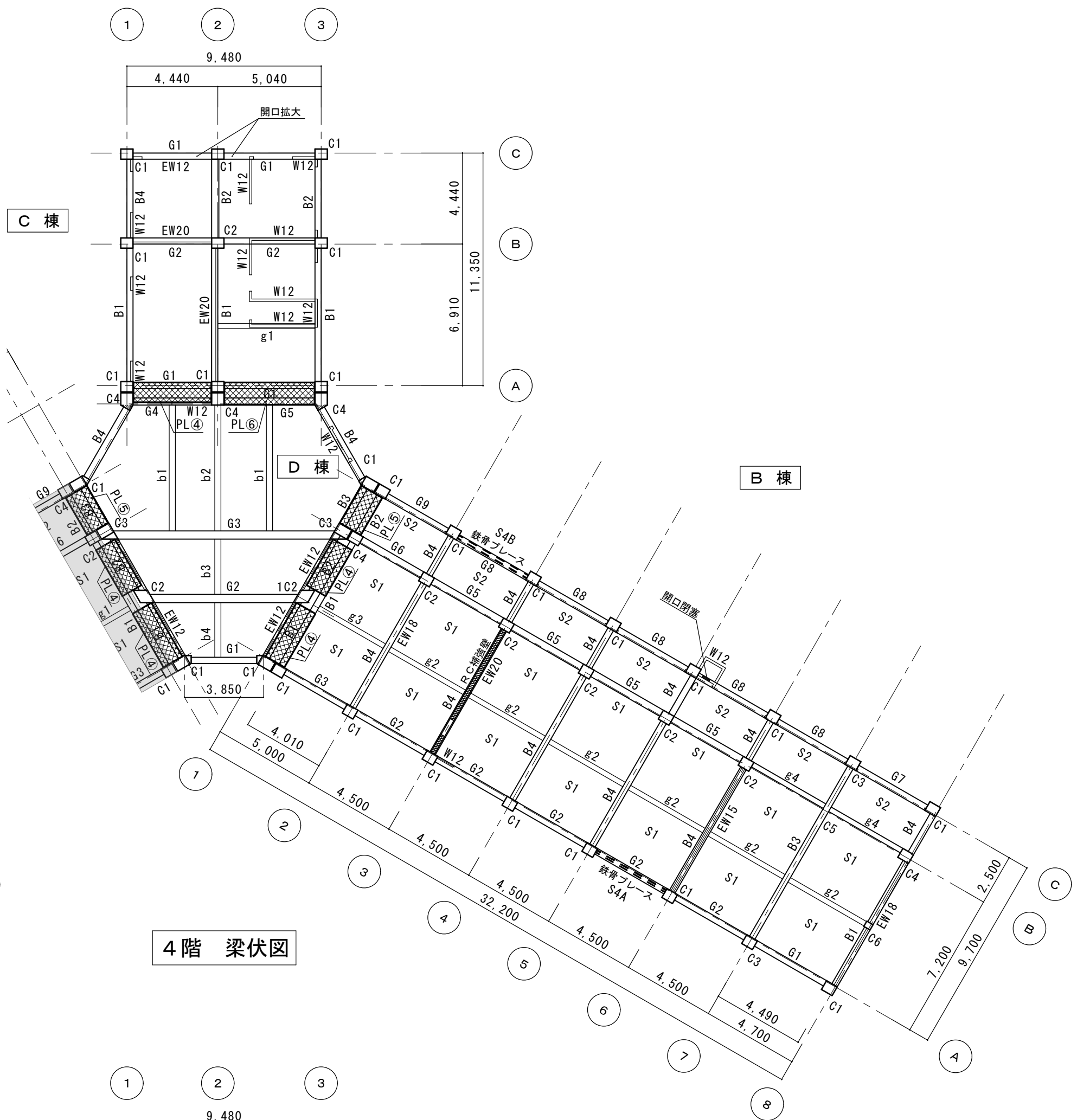
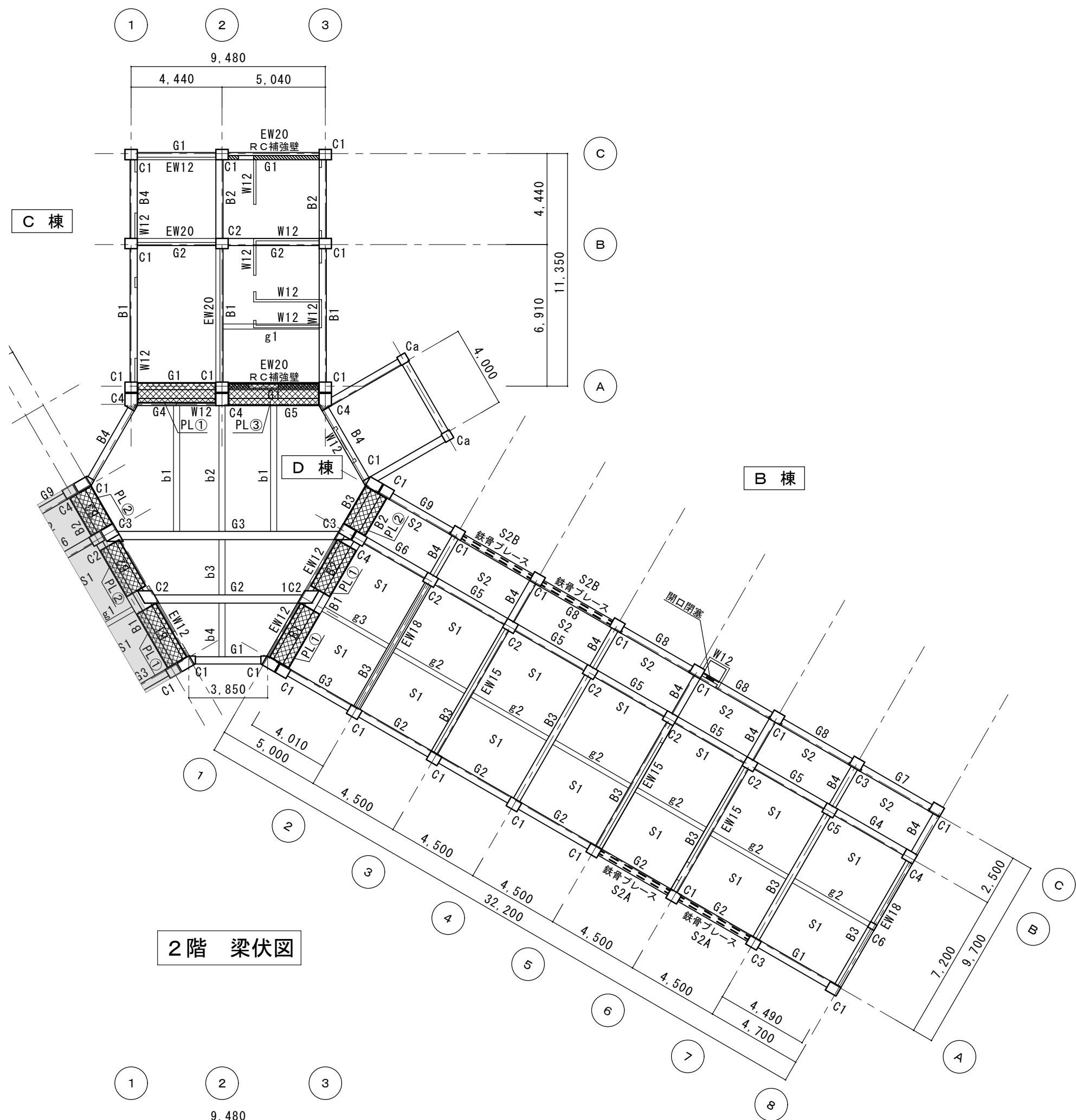
C棟・D棟3階平面詳細図(補強後) S=1/50

- 部分は、RC補強壁設置範囲を示す。
- 部分は、鉄板巻き補強範囲を示す。
- 部分は、既存床改修範囲を示す。

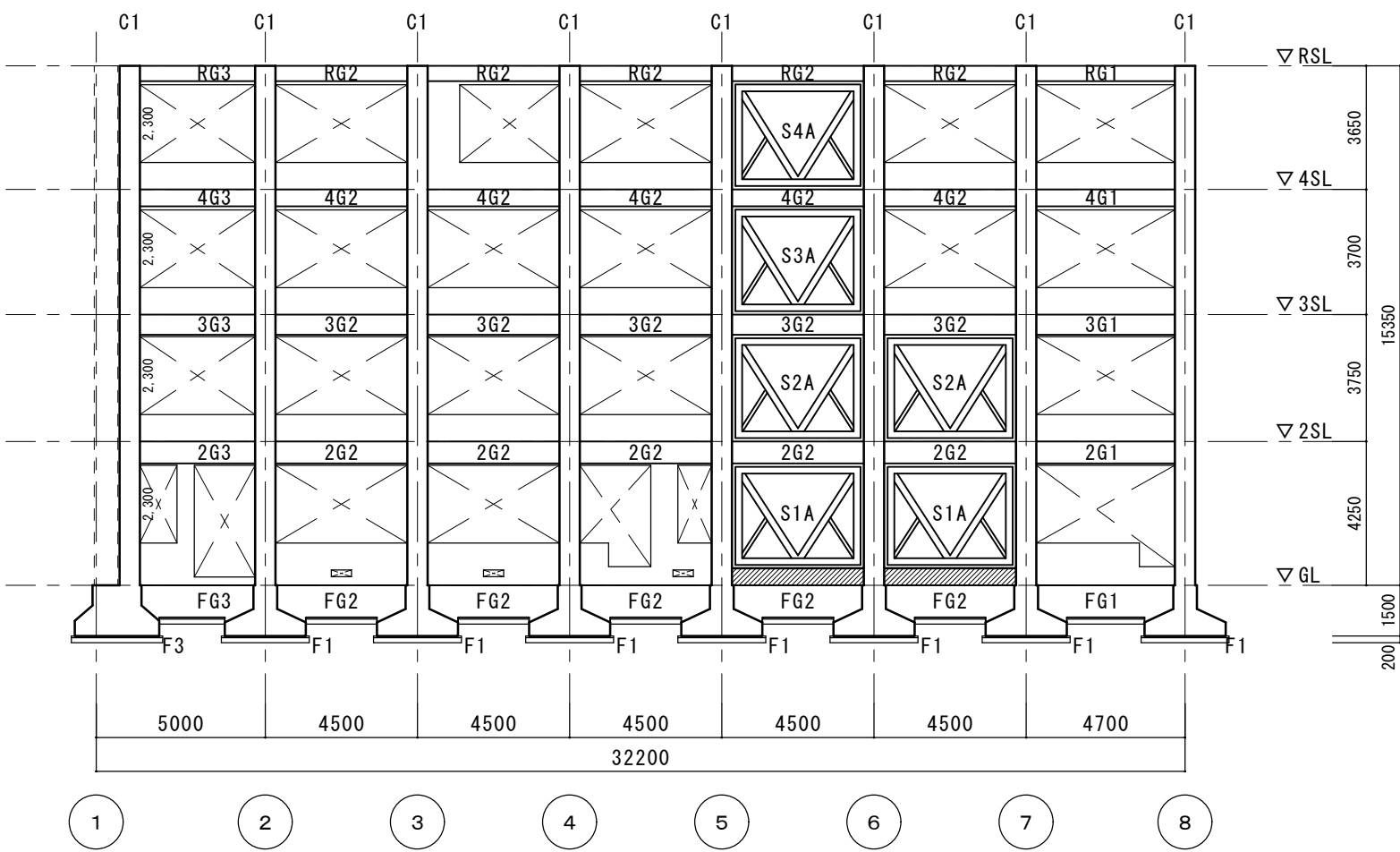
縮尺 A1: 1:50 A3: 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事(2期)	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 3F平面詳細図-2(参考)	No. D II 17



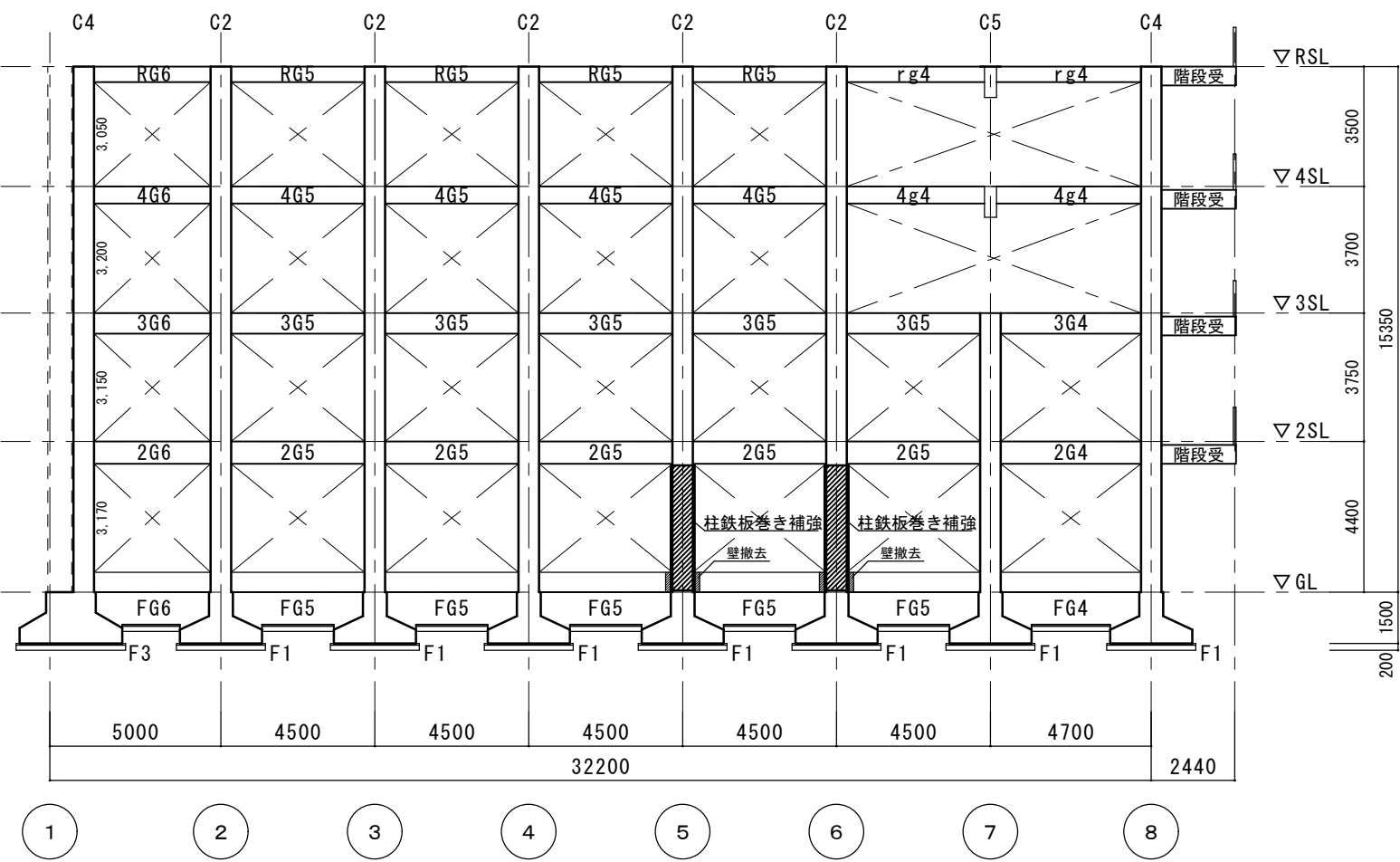
	縮 尺 A1 : 1:50 A3 : 表記の50%	物件名称	御坂中学校校舎解体工事(2期)	区分	建築意匠
		図面名称	既存校舎 4F平面詳細図-1 (参考)	No.	D II 18



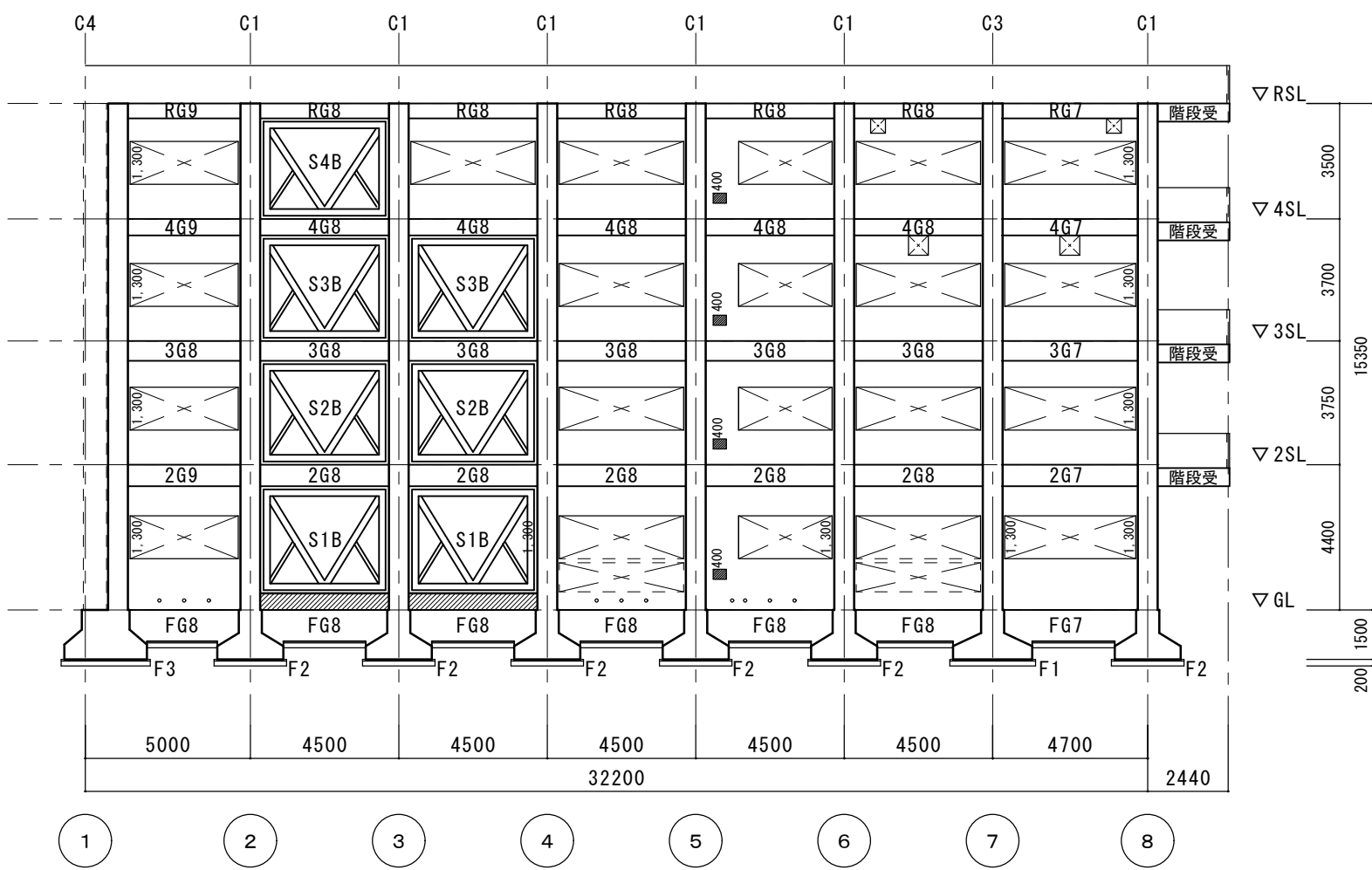
A1 : 1:200 A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事(2期)	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 基礎・各階伏図(参考)	No. DⅡ20



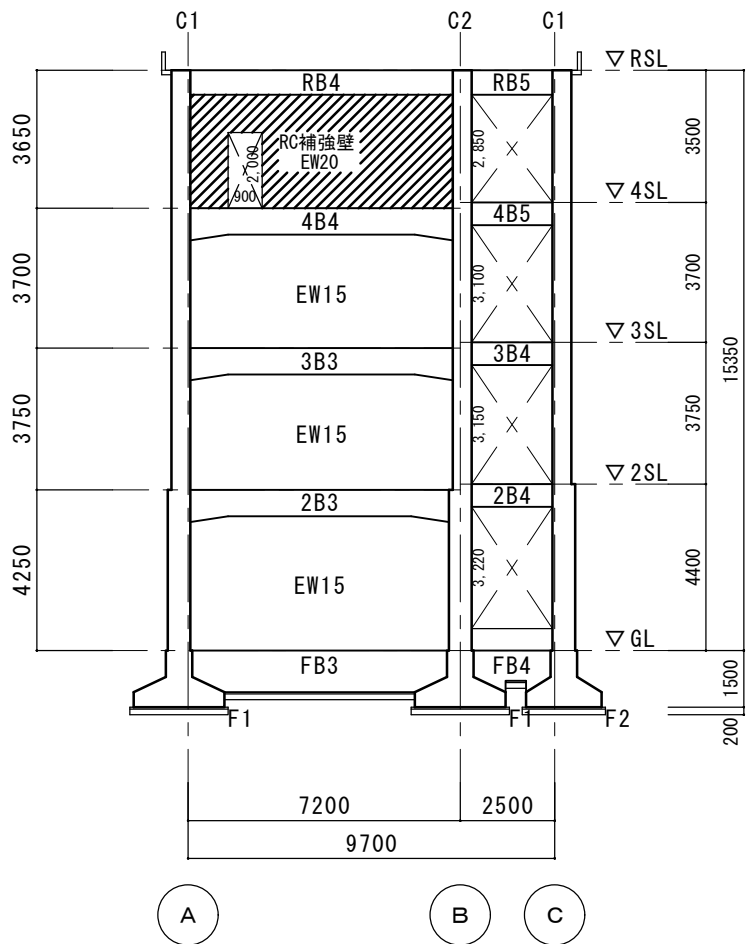
B棟 A通り軸組図 S=1/200 (補強後)
※明記なき壁は、W12 とする。



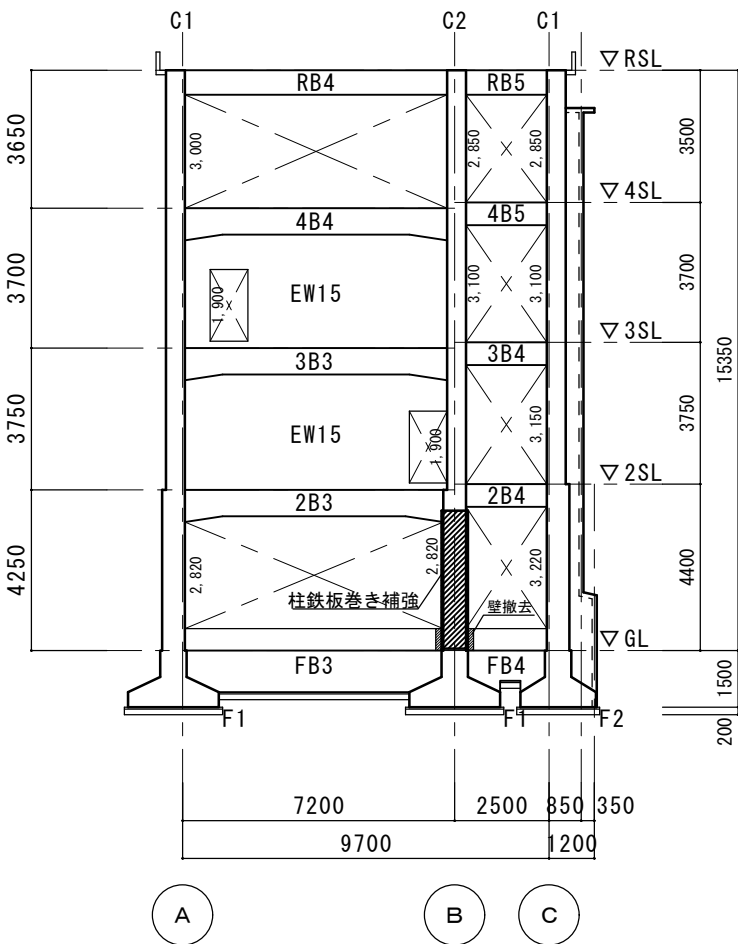
B棟 B通り軸組図 S=1/200 (補強後)
※明記なき壁は、W12 とする。



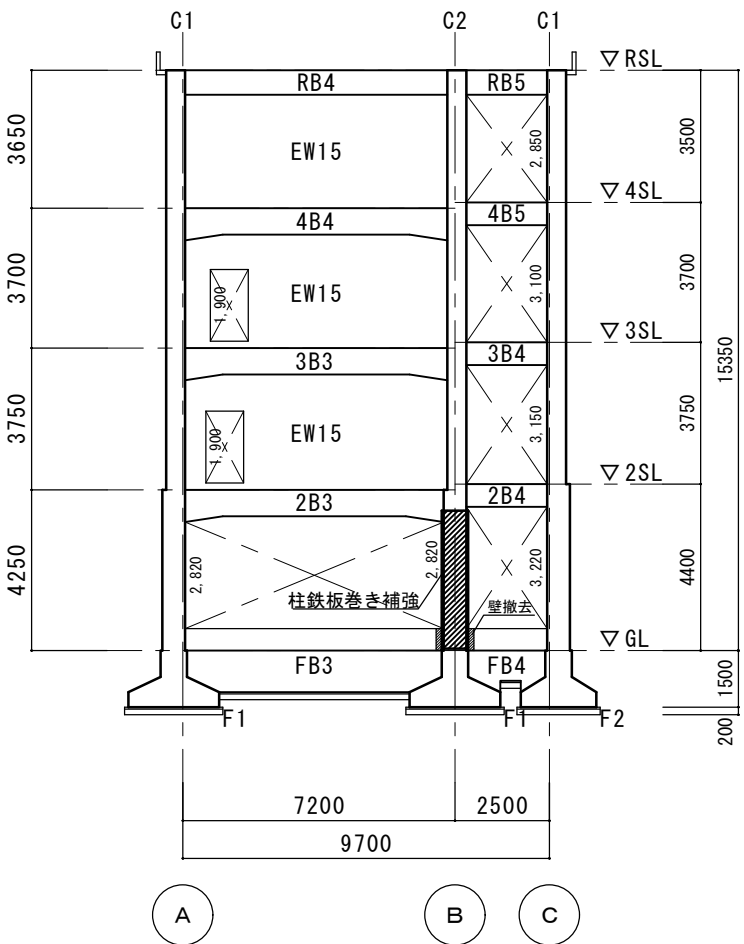
B棟 C通り軸組図 S=1/200 (補強後)
※明記なき壁は、W12 とする。
■ ダストシュート開口閉塞



B棟 3通り軸組図 S=1/200 (補強後)



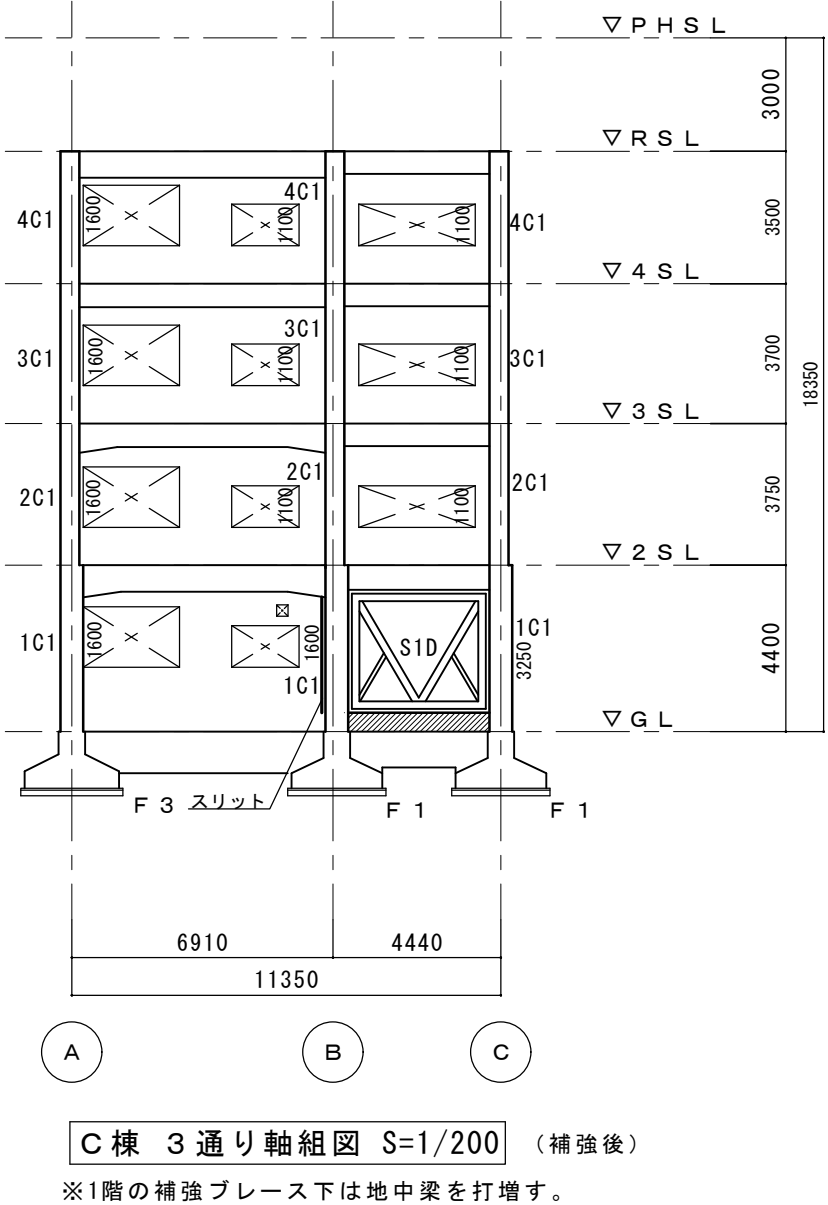
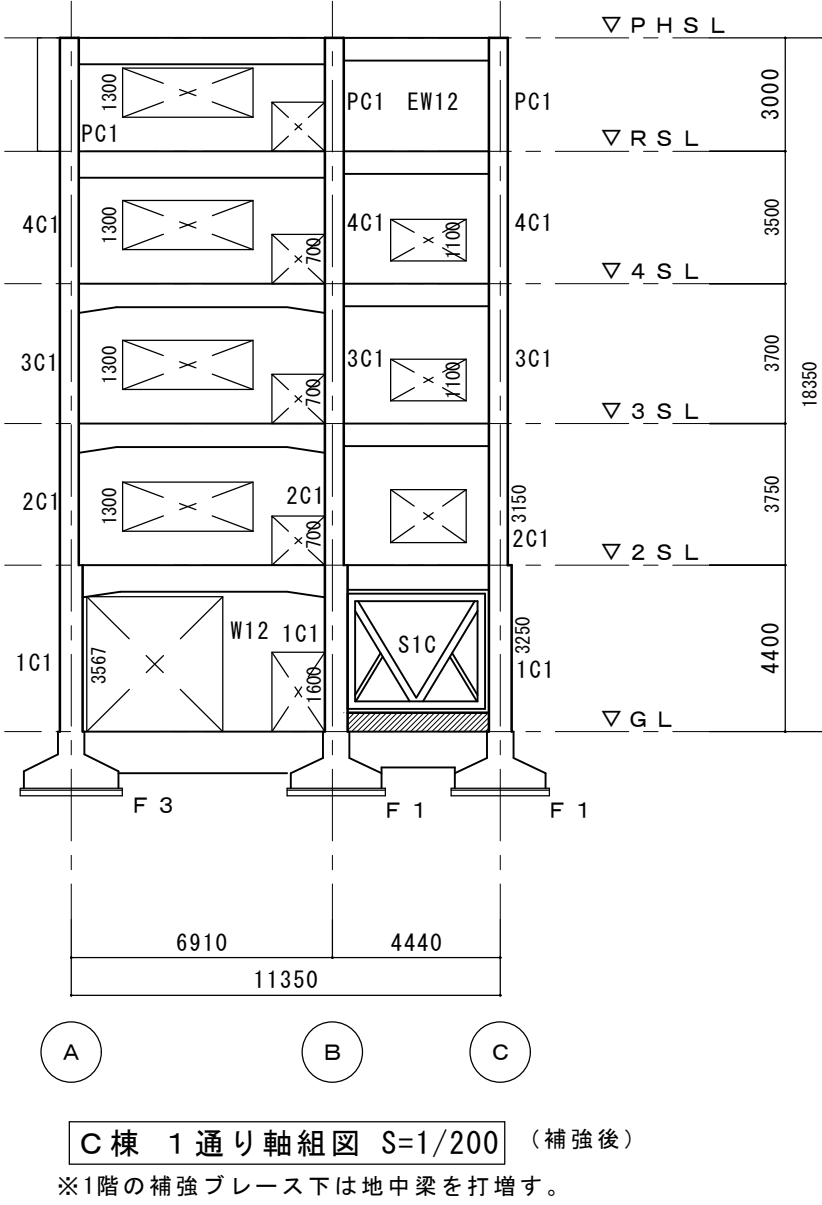
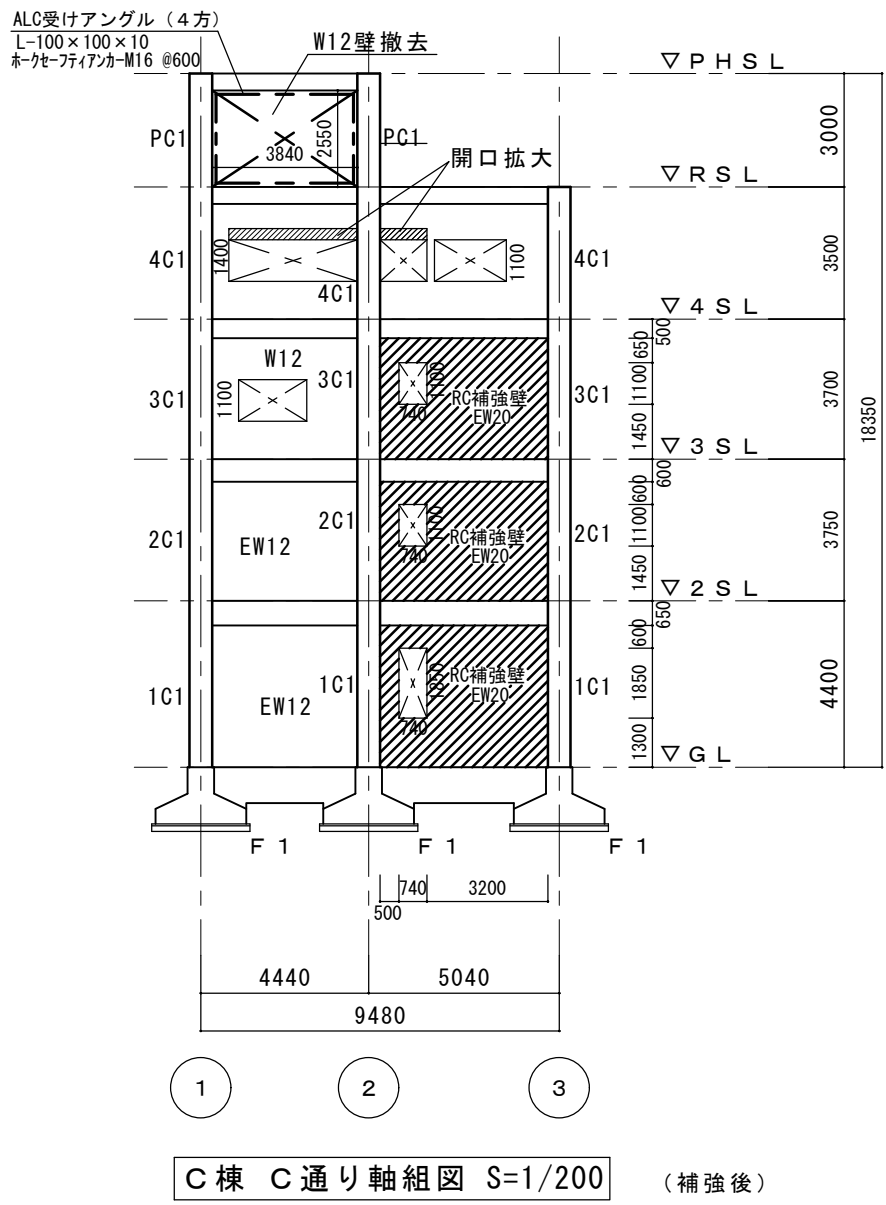
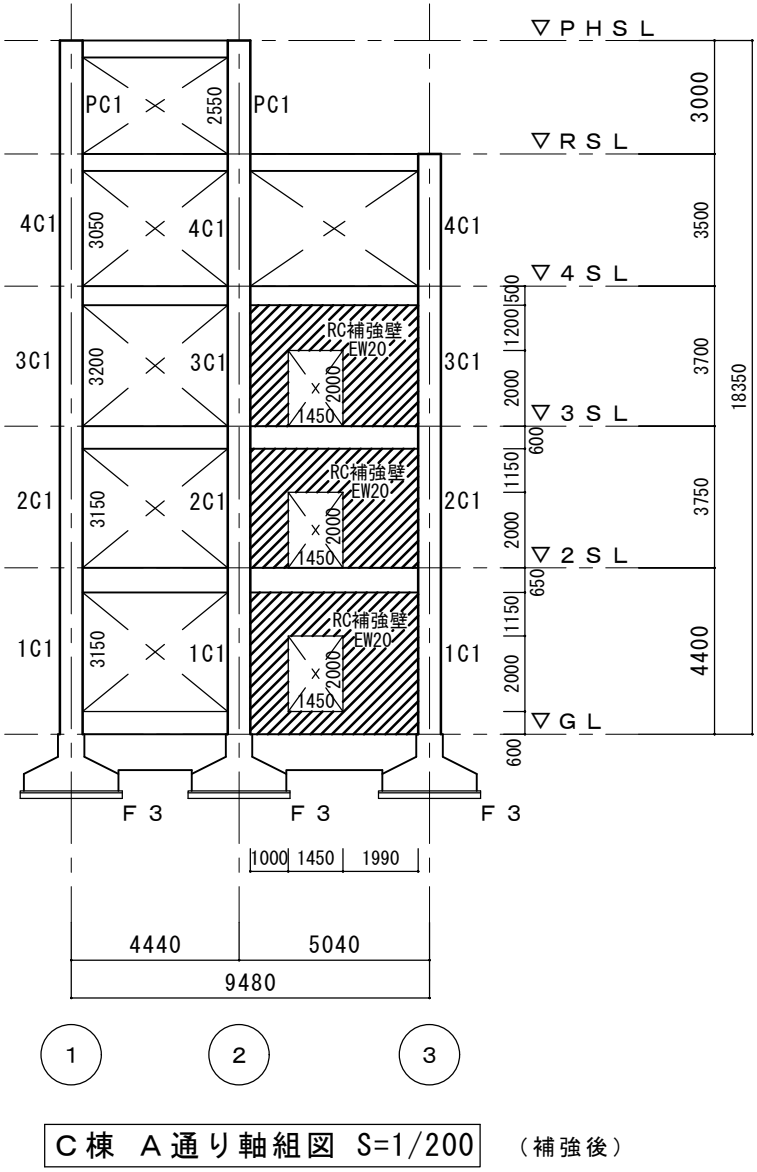
B棟 5通り軸組図 S=1/200 (補強後)



B棟 6通り軸組図 S=1/200 (補強後)

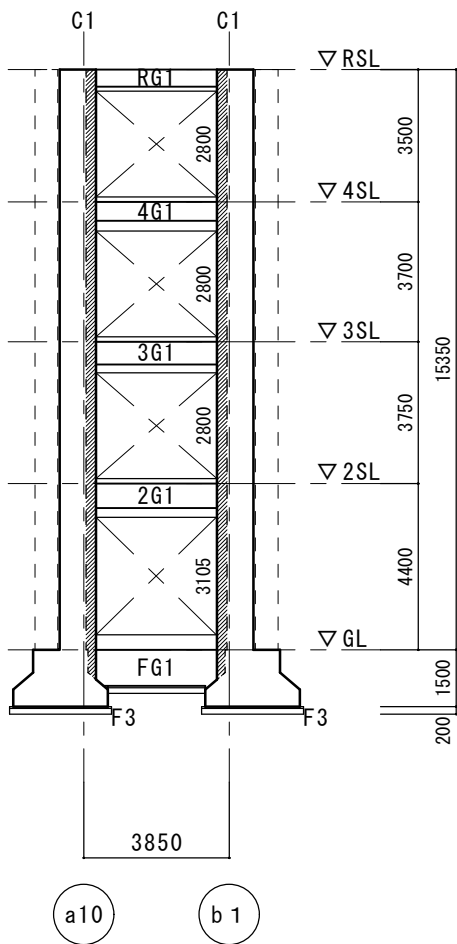
※明記なき通り軸組図は補強を行わない為、略。

	縮 尺 A1 : 1:200 A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事 (2期)	区分 建築意匠
		図面名称 既存校舎 軸組図1 (参考)	No. D II 21

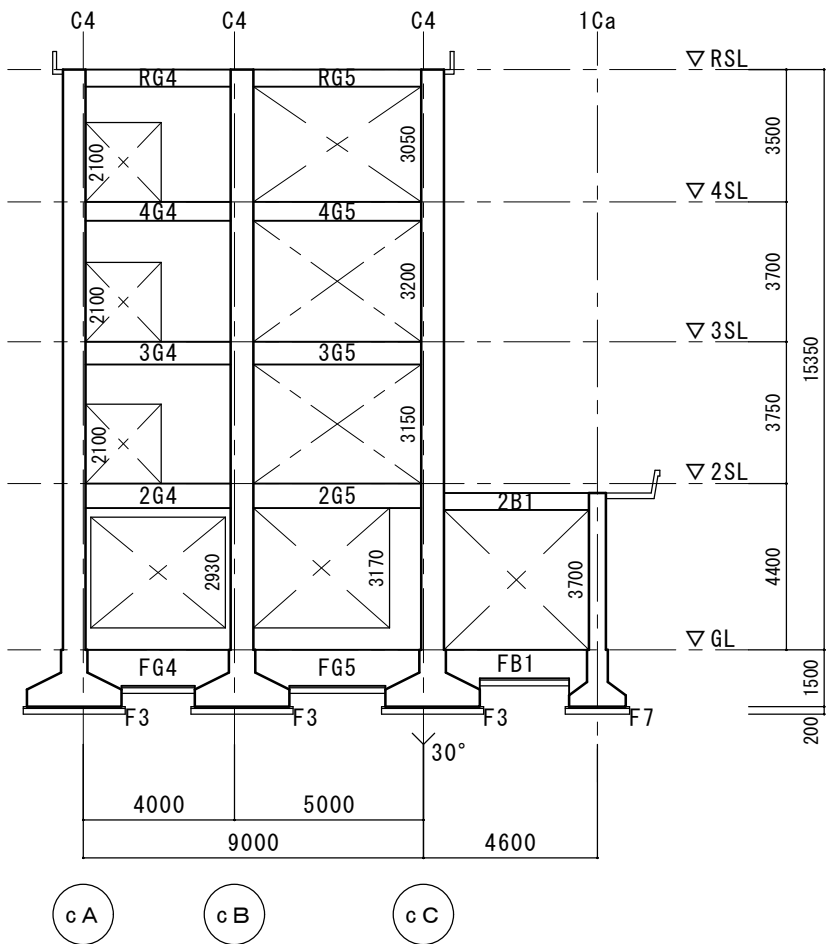


※明記なき通り軸組図は補強を行わない為、略。

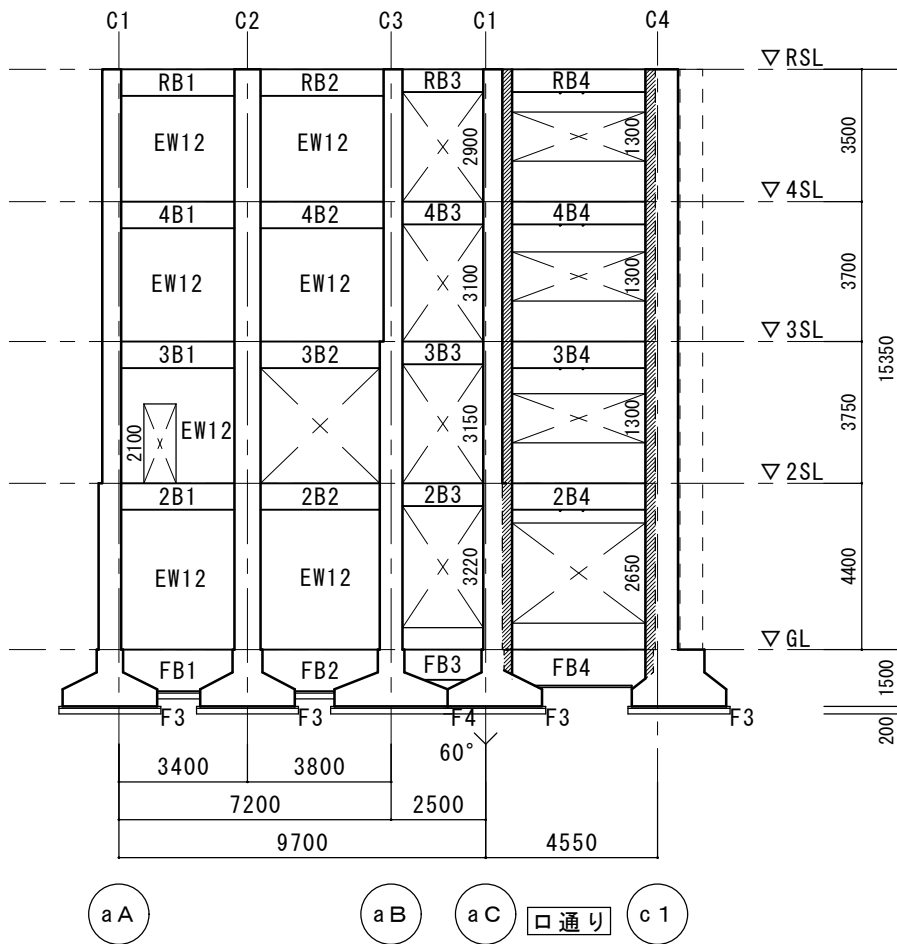
	縮 尺 A1 : 1:200 A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事(2期)	区分 建築意匠
		図面名称 既存校舎 軸組図2 (参考)	No. D II 22



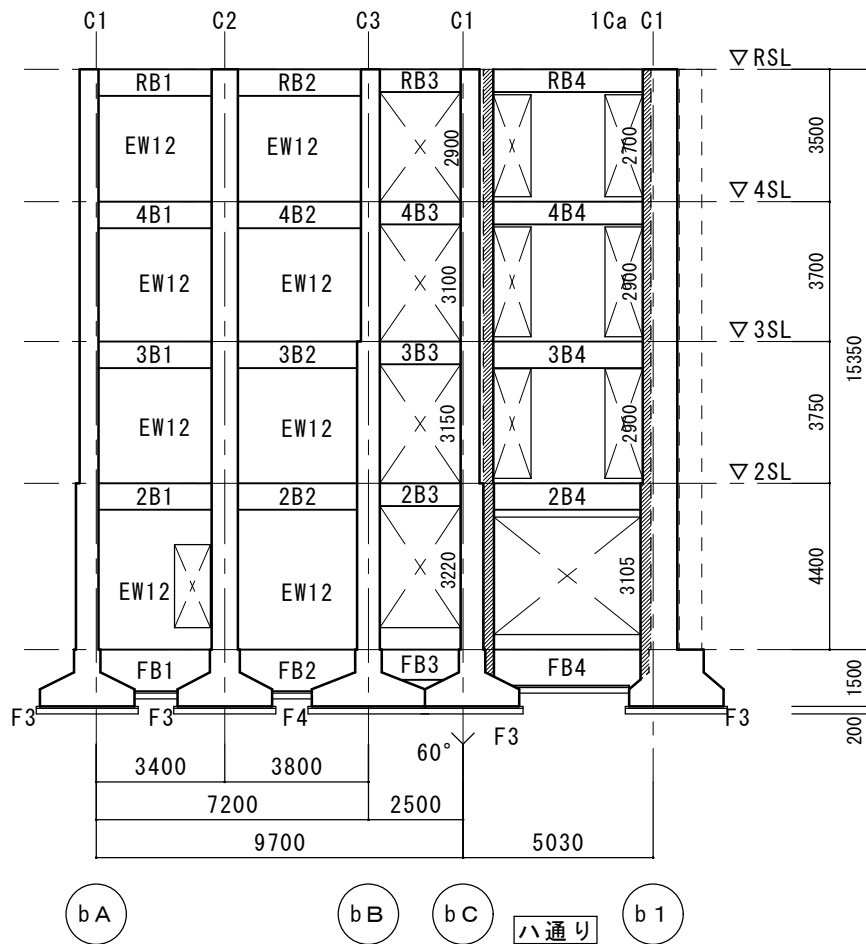
D棟 イ通り軸組図 S=1/200
※明記なき壁は、W12 とする。



D棟 C棟c1通り軸組図 S=1/200
※明記なき壁は、W12 とする。



D棟 A棟a10通り軸組図 S=1/200
※明記なき壁は、W12 とする。

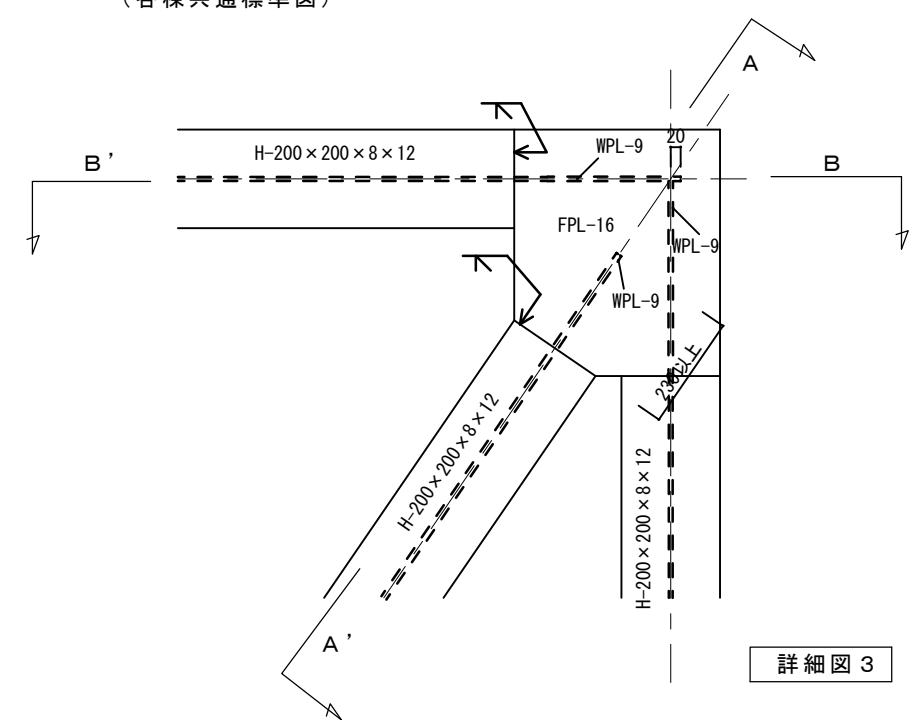
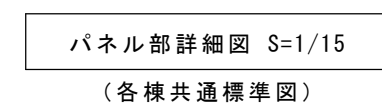
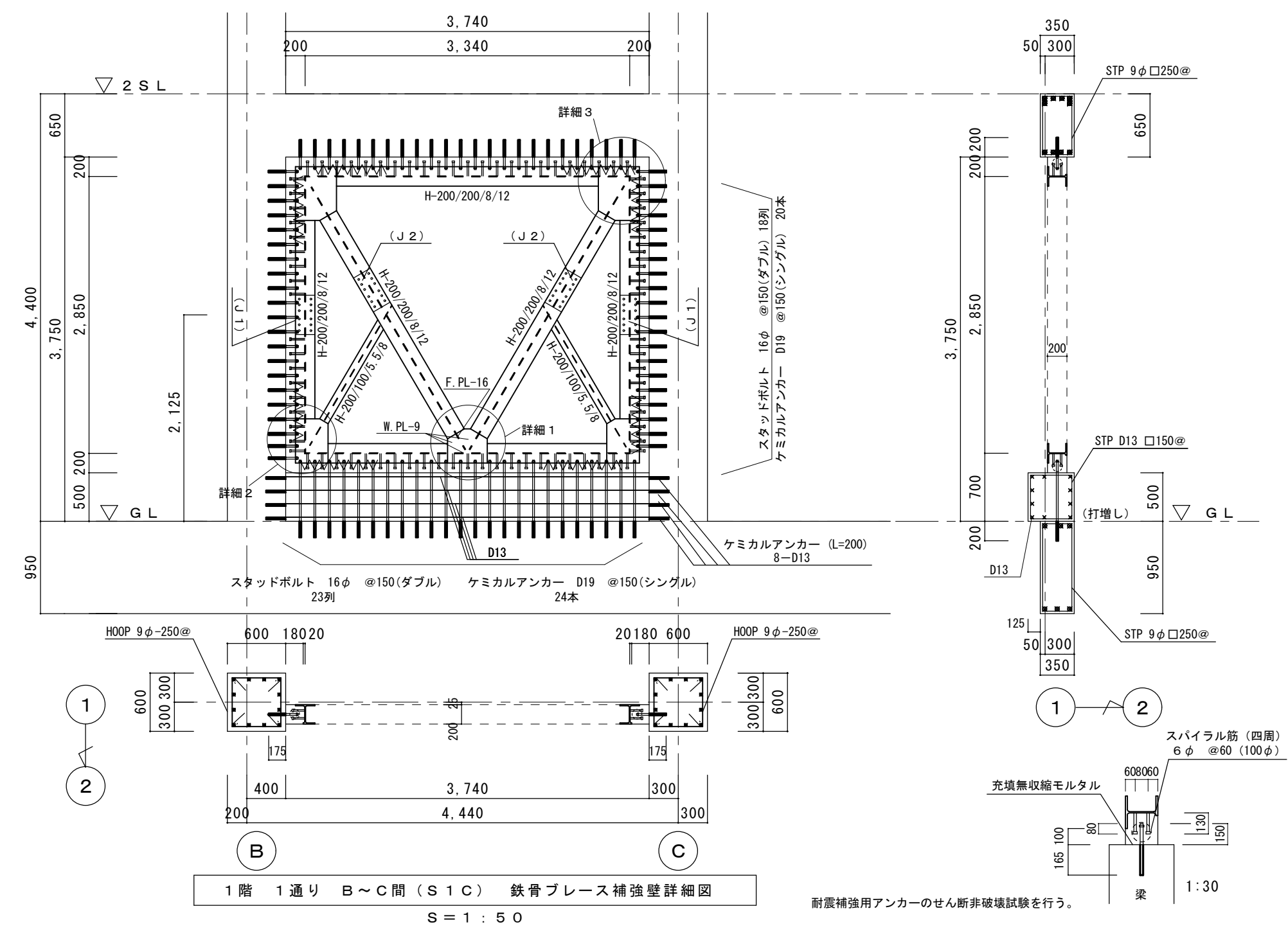
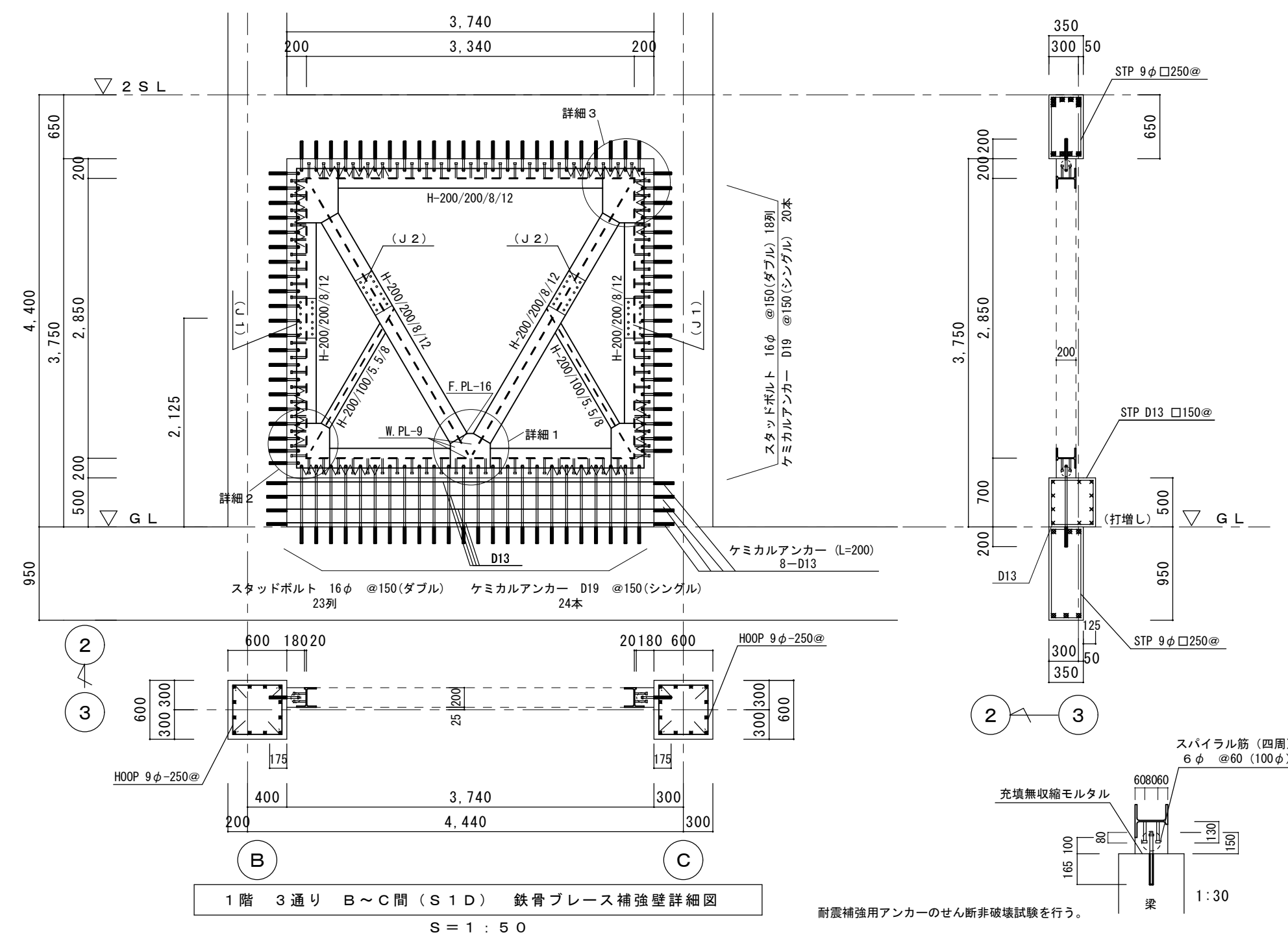


D棟 B棟b1通り軸組図 S=1/200
※明記なき壁は、W12 とする。

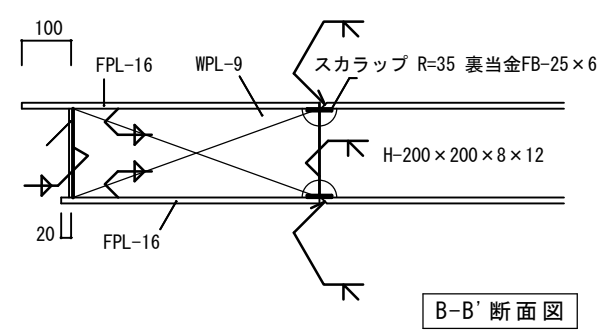
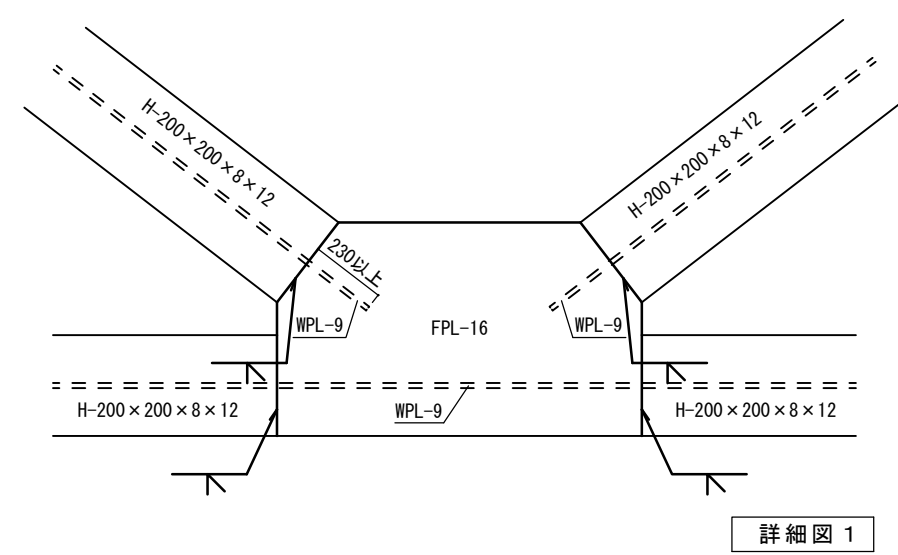
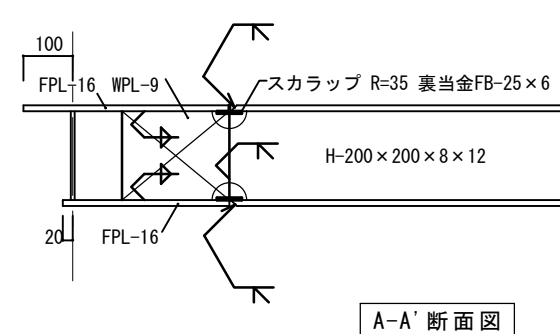
※D棟は補強壁による補強は行わない為、補強後軸組図は省略する。
(スラブ接合プレート補強のみ)

	縮 尺 A1 : 1:200 A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事 (2期)	区分 建築意匠
		図面名称 既存校舎 軸組図3 (参考)	No. D II 23

<div><div><p>1 階 A 通り 5 ～ 6 間 (S1A) 鉄骨ブレス補強壁詳細図 S = 1 : 5 0</p></div><div><p>1 階 C 通り 2 ～ 3 間 (S1B) 鉄骨ブレス補強壁詳細図 S = 1 : 5 0</p></div><div><p>2 階 C 通り 2 ～ 3 間 (S2B) 鉄骨ブレス補強壁詳細図 S = 1 : 5 0</p></div><div><p>S 2 A 鉄骨ブレス寸法は S 2 B に同じ、S 2 B に倣う事</p></div></div>			
<div><div><p>3 階 C 通り 2 ～ 3 間 (S3B) 鉄骨ブレス補強壁詳細図 S = 1 : 5 0</p></div><div><p>4 階 C 通り 2 ～ 3 間 (S4B) 鉄骨ブレス補強壁詳細図 S = 1 : 5 0</p></div><div><p>S 3 A、S 4 A 鉄骨ブレス寸法は S 3 B に同じ、S 3 B に倣う事</p></div></div>			
縮 尺 A1 : 1:50 A3 : 表記の50%	物件名称	御坂中学校校舎解体工事(2期)	
	図面名称	既存校舎 鉄骨ブレス詳細図1 (参考)	
		区分	建築意匠
		No.	D II 24



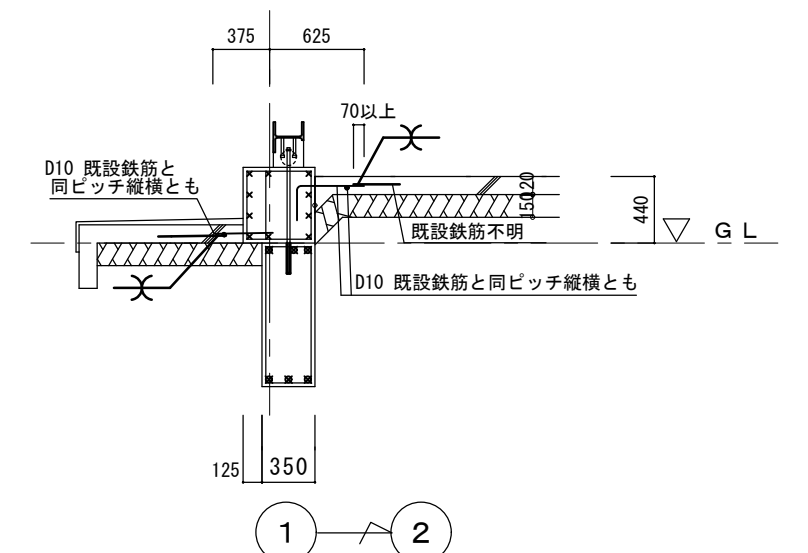
※ 詳細図 2 は上記に倣う



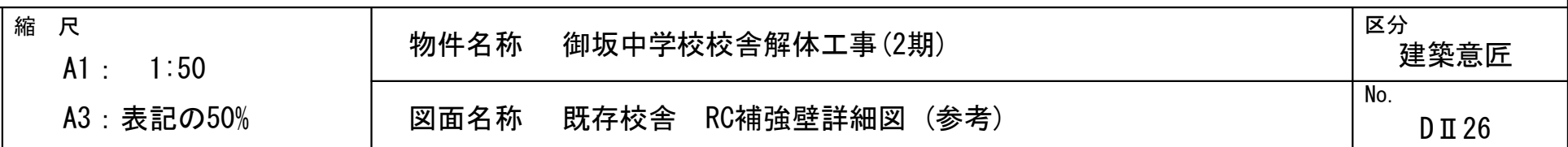
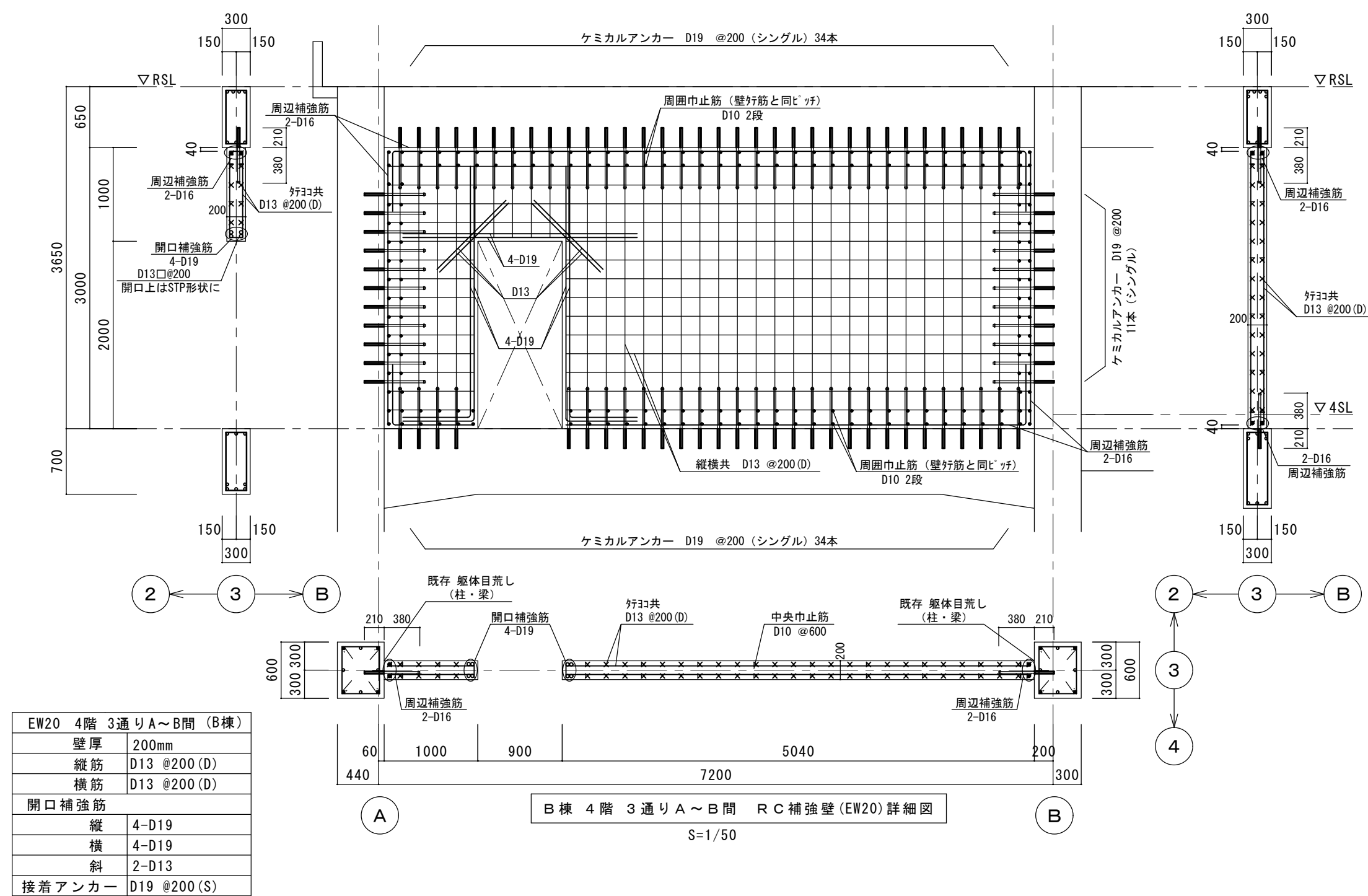
補強ブレース JOINT詳細図
(各棟共通標準図)

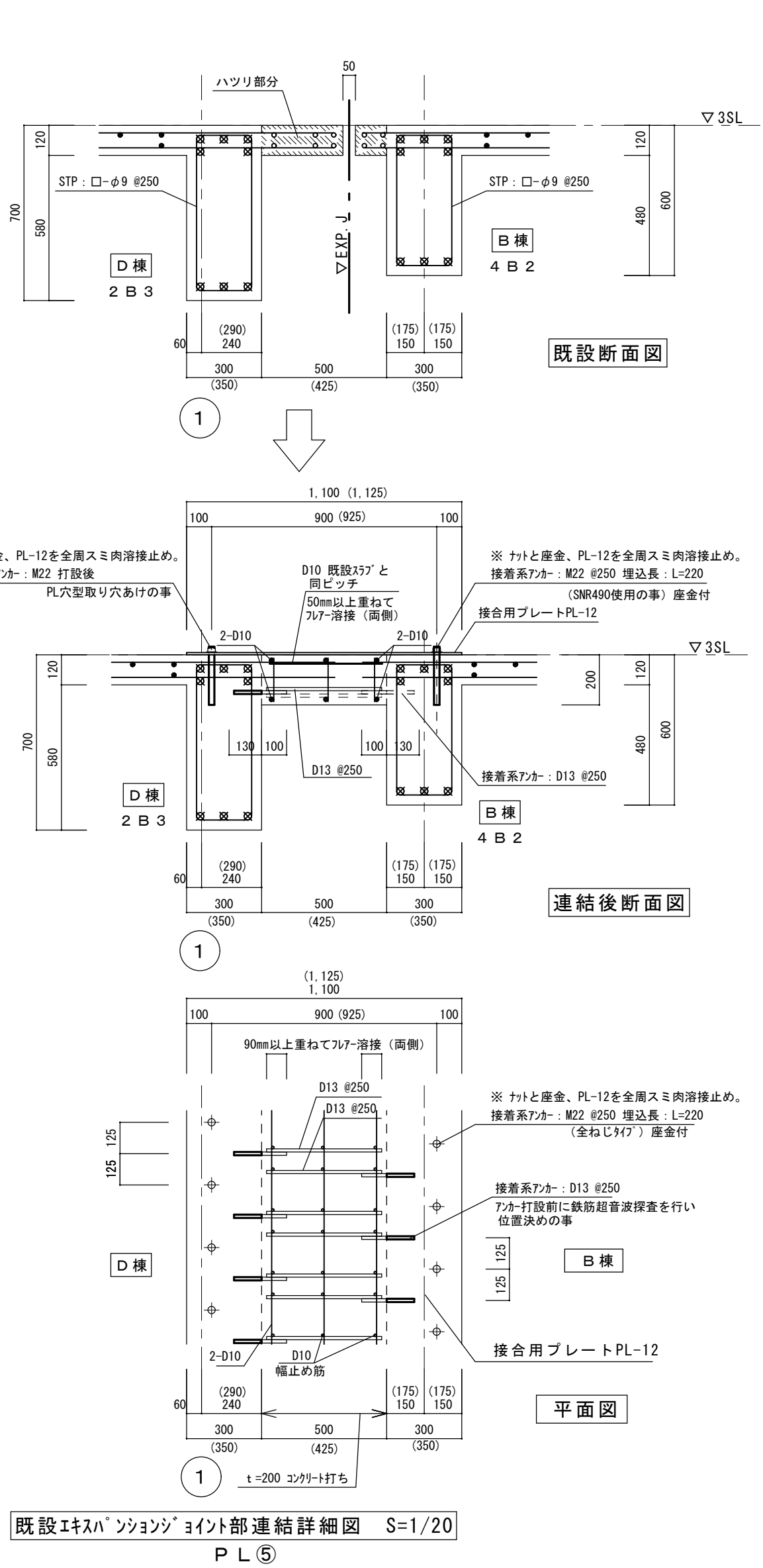
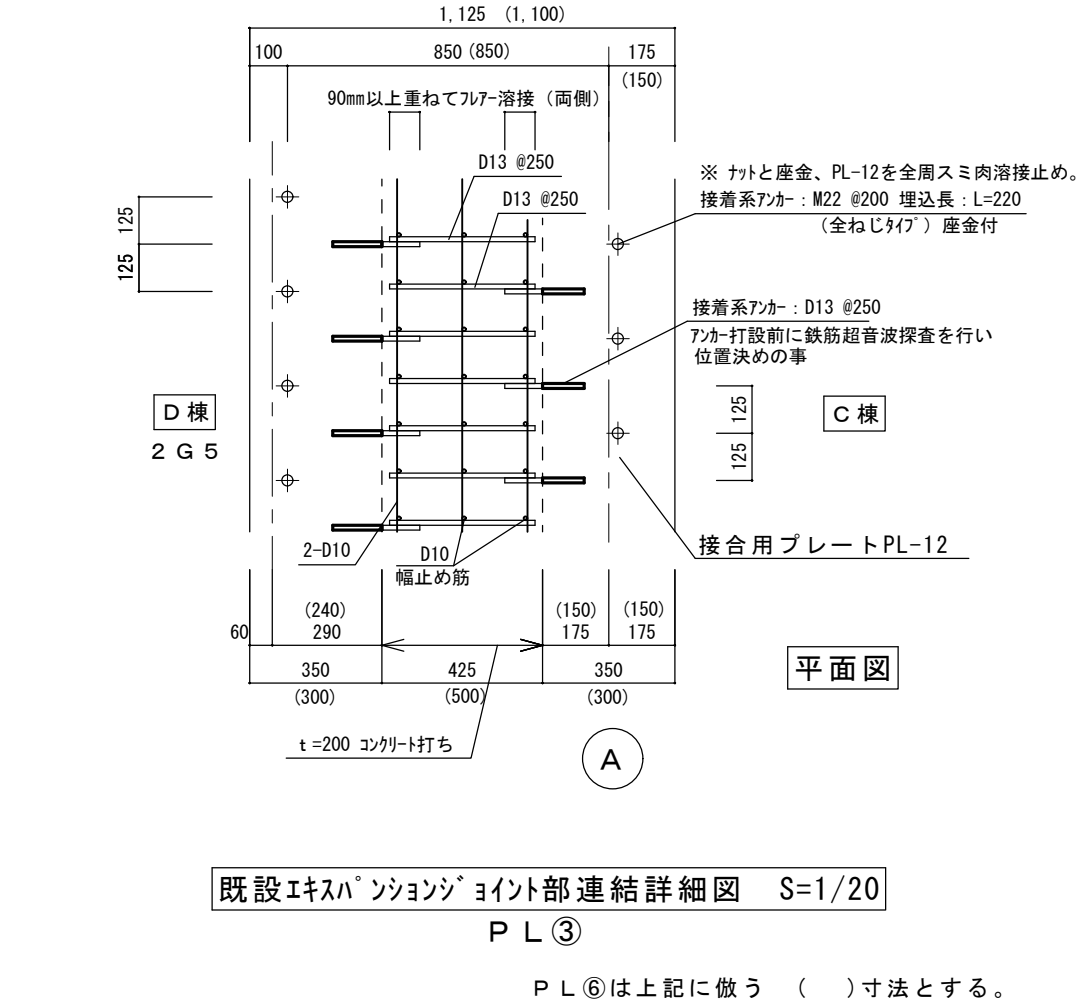
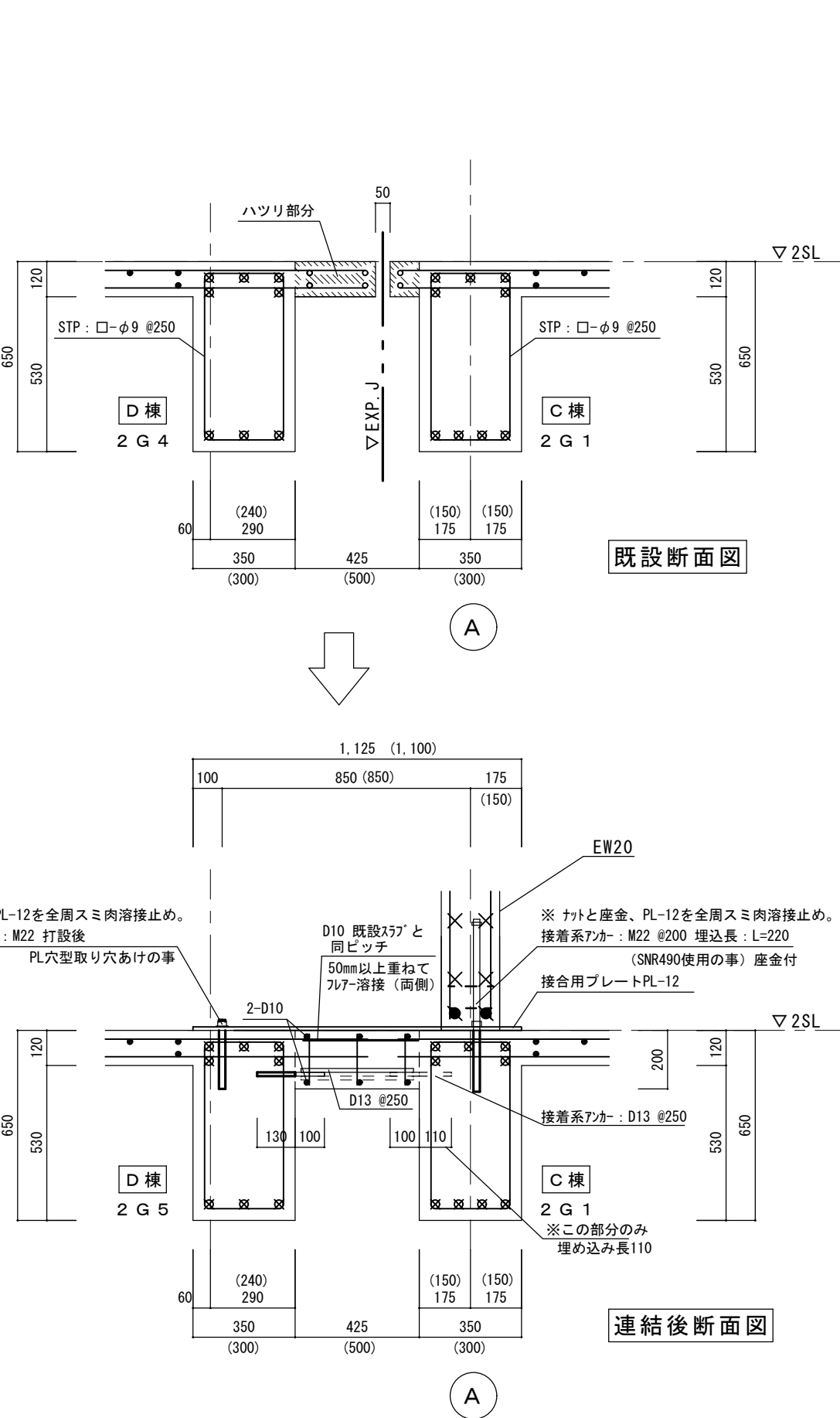
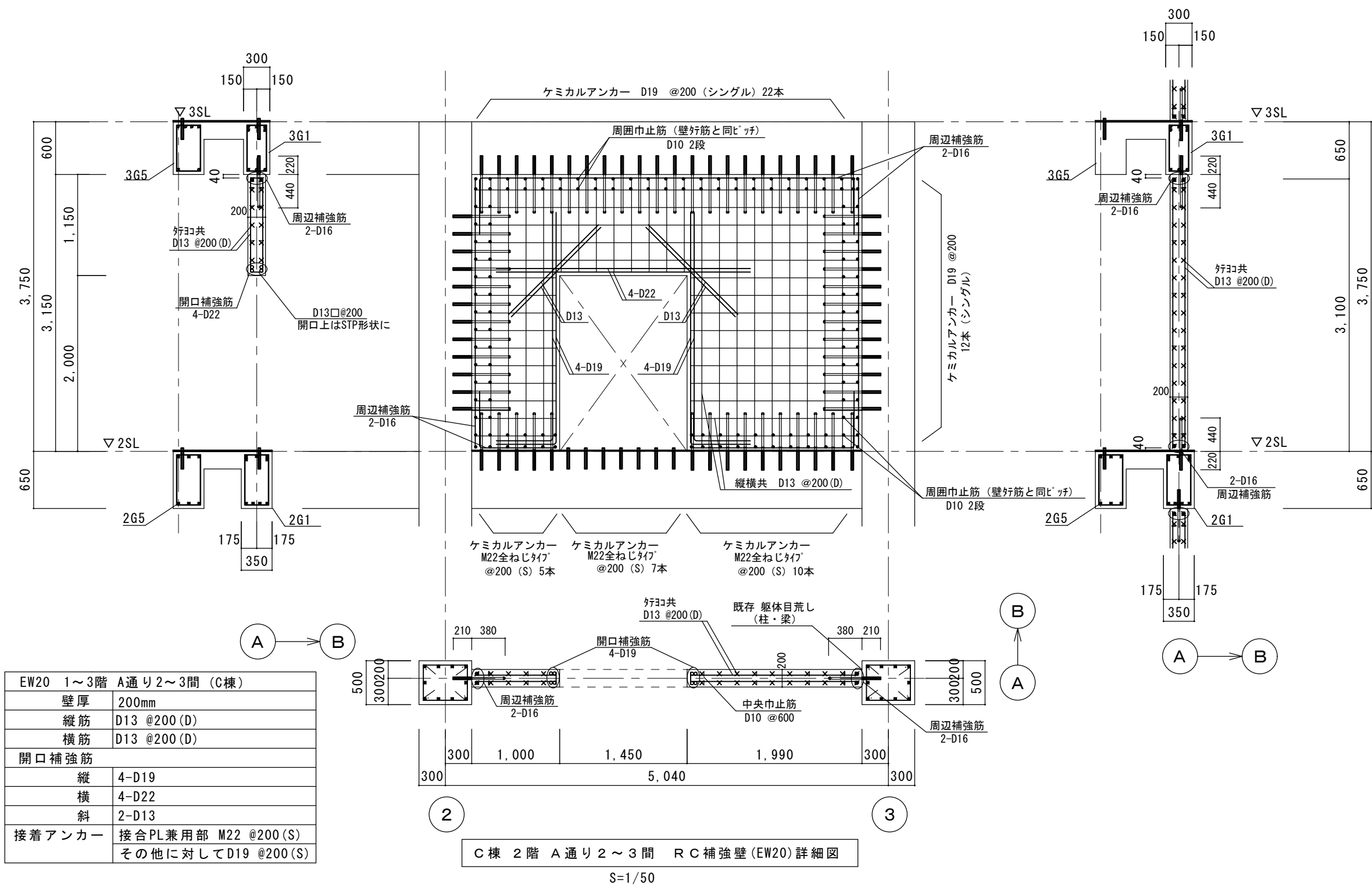
[illegible]

接合部	高力ボルト	添え板		数量
		t	w	
フランジ	24-M20	外	9/194/405	2
		内	9/70/405	4
ウェブ	4-M20		9/225/140	2

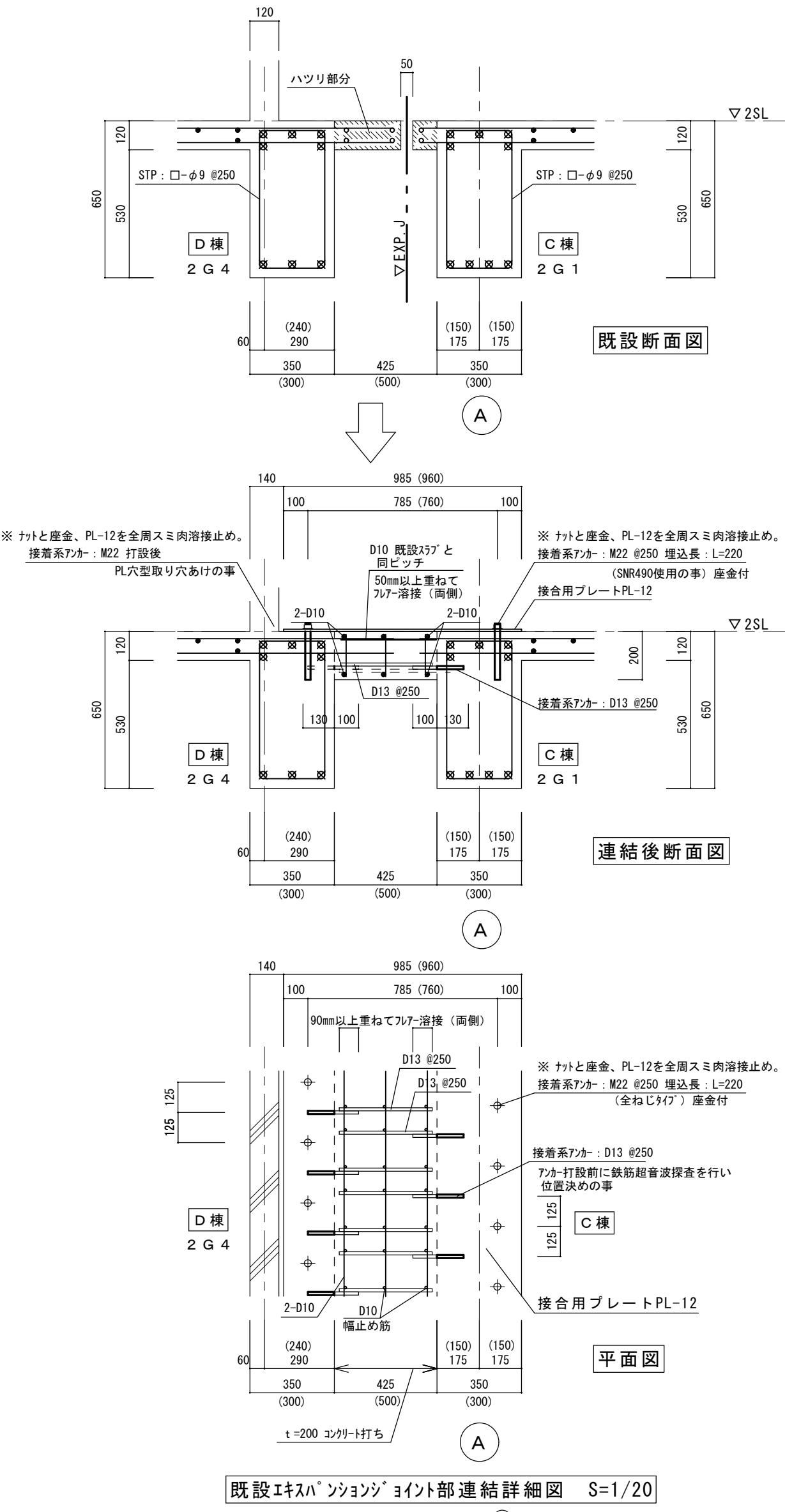


縮 尺 A1 : A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事 (2期)	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 鉄骨ブレース詳細図2 (参考)	No. D II 25



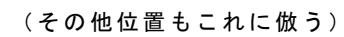


P L ②は上記に倣う () 寸法とする。



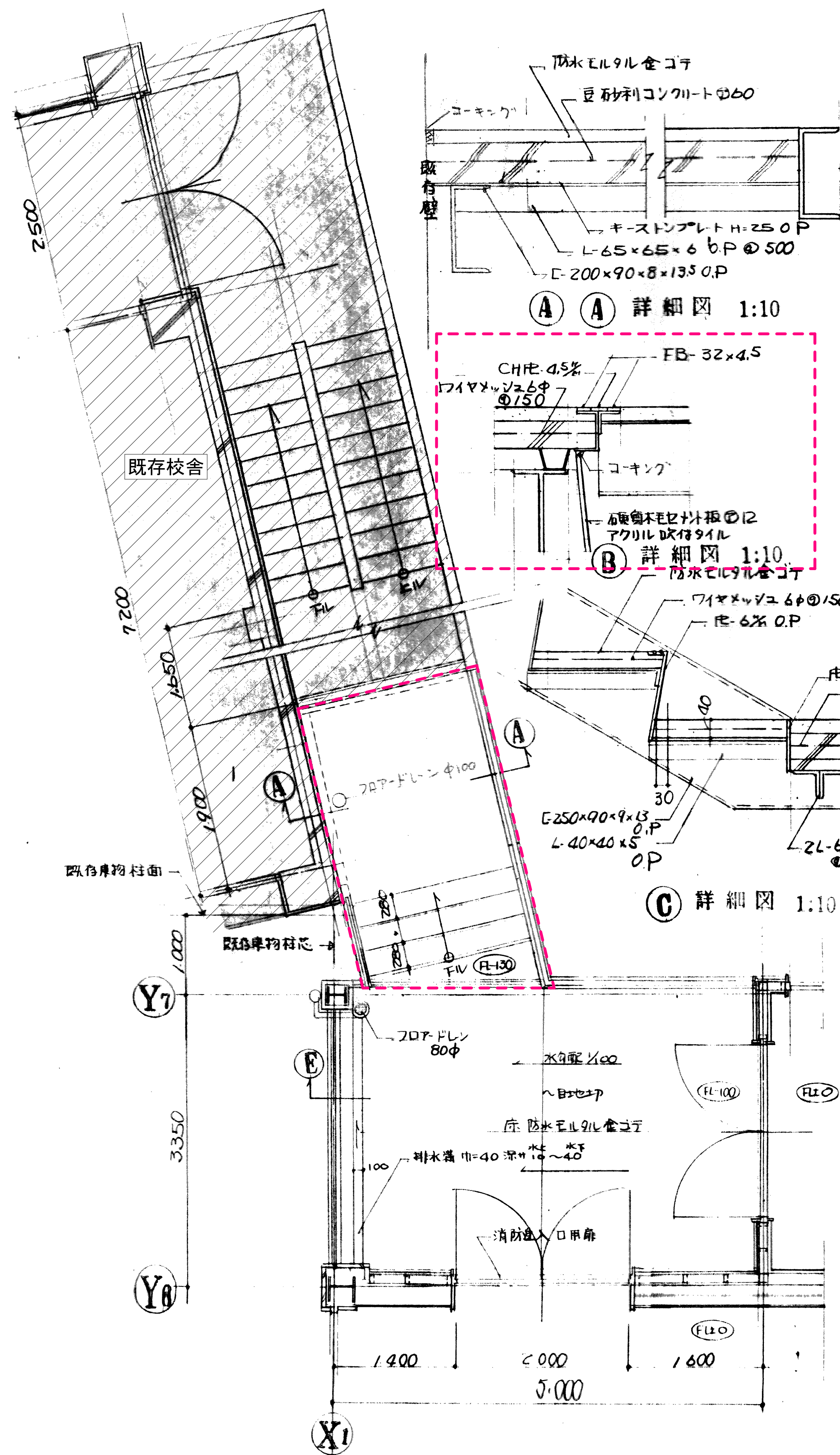
P L ④は上記に倣う () 寸法とする。

縮 尺 A1 : 1:20 1:50 A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事 (2期)	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 EXP詳細図 (参考)	No. D II 27

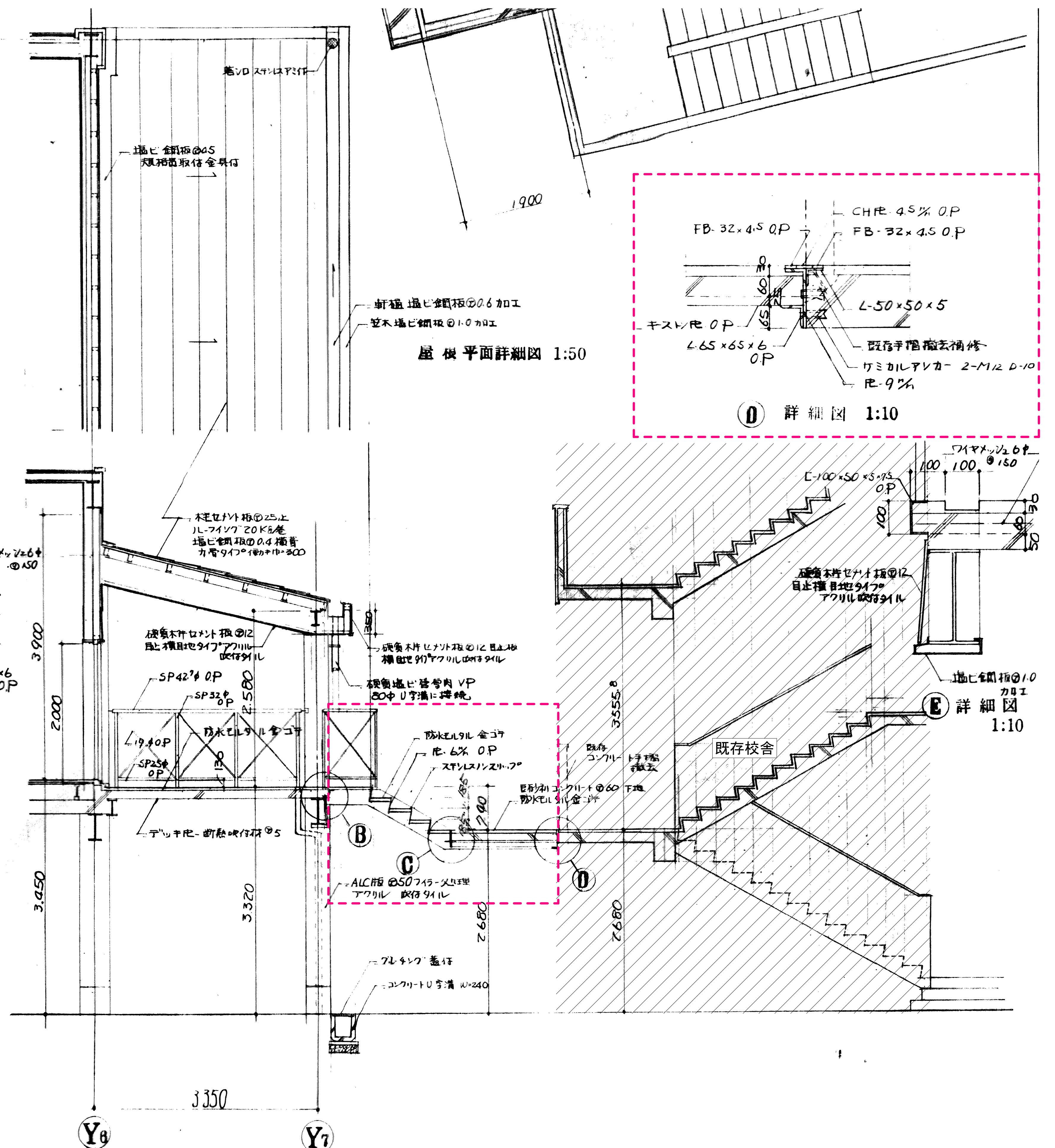


* 鉄筋は縦筋、横筋共に切断しないこと
スリットは完全スリットとする。

縮尺 A1 : A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事(2期)	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 雑詳細図(参考)	No. D II 28



2階平面詳細図 1:50



断面詳細図 1:50

縮尺 A1: A3: 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事(2期)	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 柔剣道所用接続渡り廊下	No. D II 29



縮尺 A1: 1:100 A3: 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事(2期)	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 1・2F電気設備器具撤去図	No. D II 30



[凡例] 特記なき記号は下記による。	
記 号	名 称
□ A	[撤去]FL40×2 吊ﾊﾞｲﾌﾞ
○ B	[撤去]FL40×1 吊ﾊﾞｲﾌﾞ
□ C	[撤去]FL40×2 直付型
○ D	[撤去]FL40×1 直付型
□ F	[撤去]FL40×1 埋込型
○ K	[撤去]ｽﾏﾙﾄﾞﾗｲﾄ
⊗ G	[撤去]FHD32×3 ｽｸﾏﾙﾄﾞﾗｲﾄ 埋込型
⊗ X	[撤去]誘導灯C 天井
⊗ Y	[撤去]誘導灯C 壁付
⊗	[撤去]天井ｽﾏﾙﾄﾞﾗｲﾄ
⊗	[撤去]ｽﾏﾙﾄﾞﾗｲﾄ 壁付
⊗	[撤去]差動式ｽﾏﾙﾄﾞﾗｲﾄ型感知器
⊗	[撤去]光電式ｽﾏﾙﾄﾞﾗｲﾄ型感知器 3種
⊗	[撤去]扇風機 天井取付型 40形

撤去器具数量表			
器具名		記号	数量
FL40×2 吊ﾊﾞｲﾌﾞ		A	85
FL40×1 吊ﾊﾞｲﾌﾞ		B	16
FL40×2 直付型		C	14
FL40×1 直付型		D	10
FL40×1 埋込型		F	10
FHD32×3 ｽｸﾏﾙﾄﾞﾗｲﾄ 埋込型		G	2
ｽﾏﾙﾄﾞﾗｲﾄ		K	2
誘導灯C 天井		X	1
誘導灯C 壁付		Y	5
ｽﾏﾙﾄﾞﾗｲﾄ 壁付			12
光電式ｽﾏﾙﾄﾞﾗｲﾄ型感知器 3種			3
差動式ｽﾏﾙﾄﾞﾗｲﾄ型感知器			14
天井ｽﾏﾙﾄﾞﾗｲﾄ			6
扇風機 天井取付型 40形			24

